

2010年度（11年3月期） 第3四半期 決算概要

2011年1月27日

日本電気株式会社

(<http://www.nec.co.jp/ir/ja>)

人と地球にやさしい情報社会を
イノベーションで実現する
グローバルリーディングカンパニー

NECグループビジョン2017

目次

. 第3四半期 決算概要

. 通期業績予想

- 第3四半期 決算（補足）
- 通期業績予想（補足）
- 参考資料

. 第3 四半期 決算概要

第3四半期 概況サマリー

国内IT投資の回復遅れ、大型案件減少の影響を受けて減収減益

(単位:億円)

	第3四半期 <10~12月>			第3四半期累計期間 <9ヶ月>		
	09年度 実績	10年度 実績	前年 同期比	09年度 実績	10年度 実績	前年 同期比
売上高	8,254	7,207	12.7%	24,791	21,899	11.7%
営業損益	75	135	60	452	124	328
経常損益	64	270	205	563	492	71
当期純損益	96	265	169	532	536	4
フリーキャッシュフロー	211	917	706	749	1,945	1,196

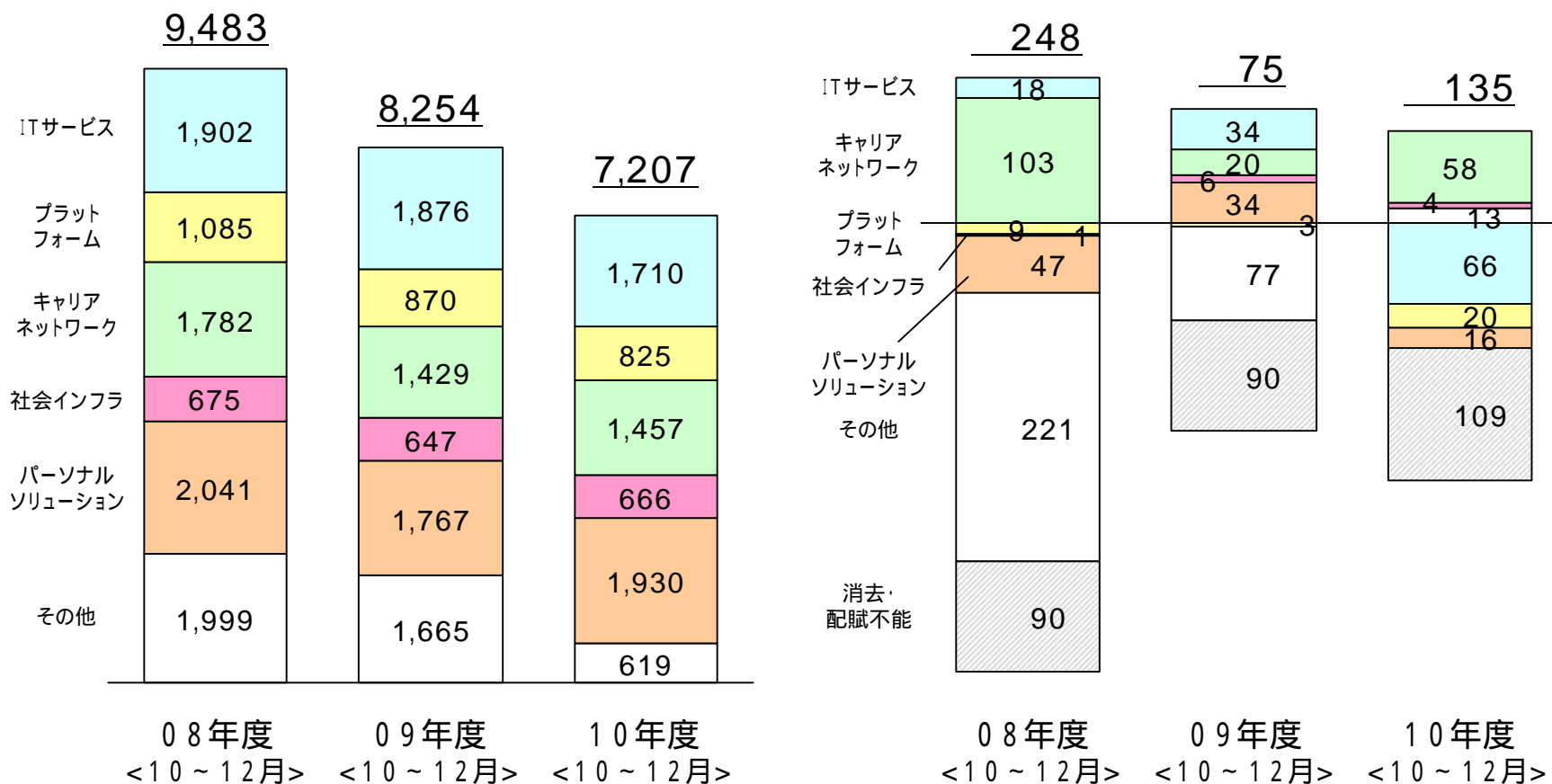
参考：第3四半期（10～12月）の売上平均為替レート（実績）1ドル＝82.98円、1ユーロ＝112.17円
 第3四半期累計期間（9ヶ月）の売上平均為替レート（実績）1ドル＝87.64円、1ユーロ＝114.73円
 （第3四半期為替レート前提 1ドル＝80円、1ユーロ＝115円）

セグメント別 第3四半期実績

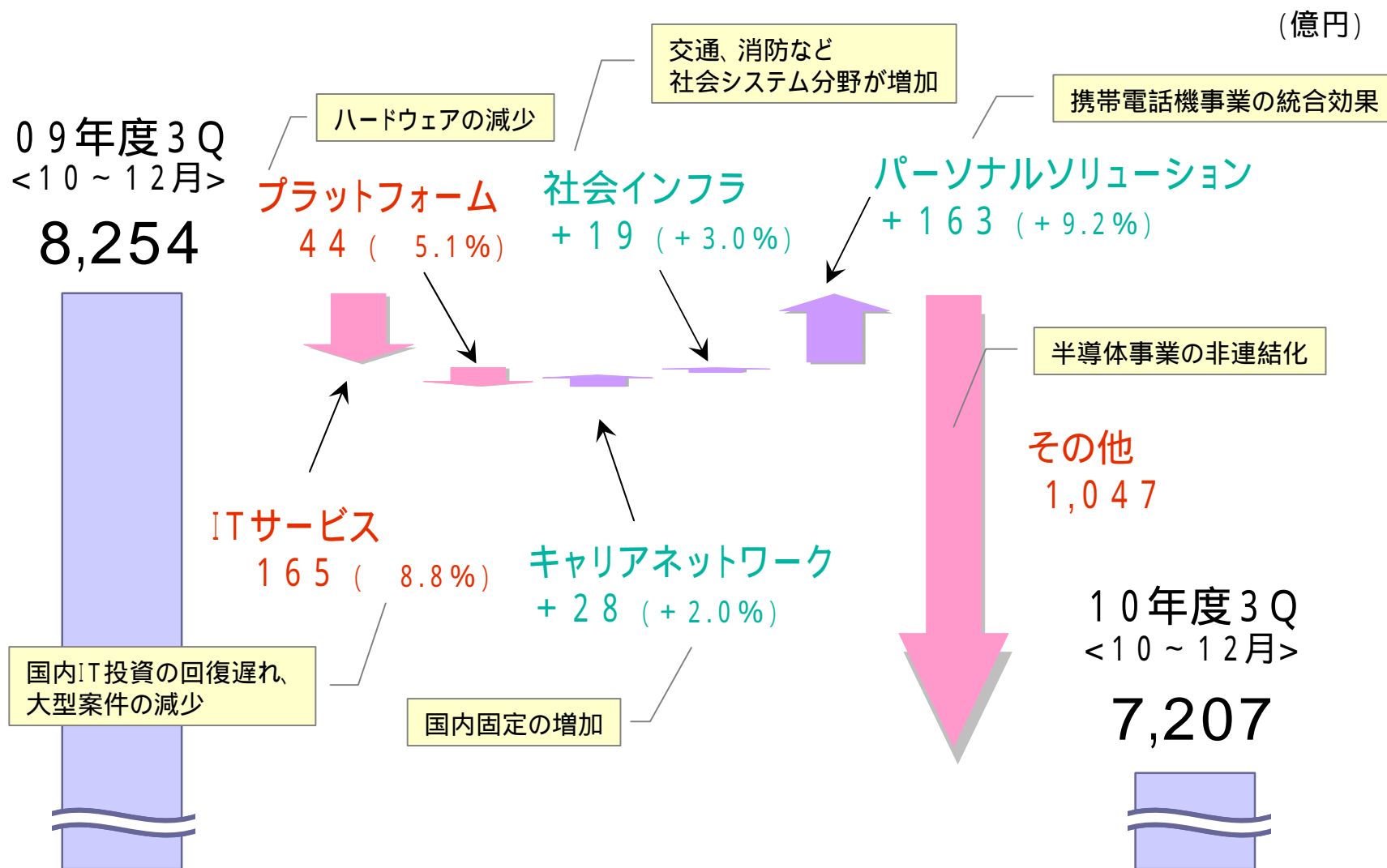
(億円)

売上高

営業損益



売上高増減 (前年同期比)



営業損益増減 (前年同期比)

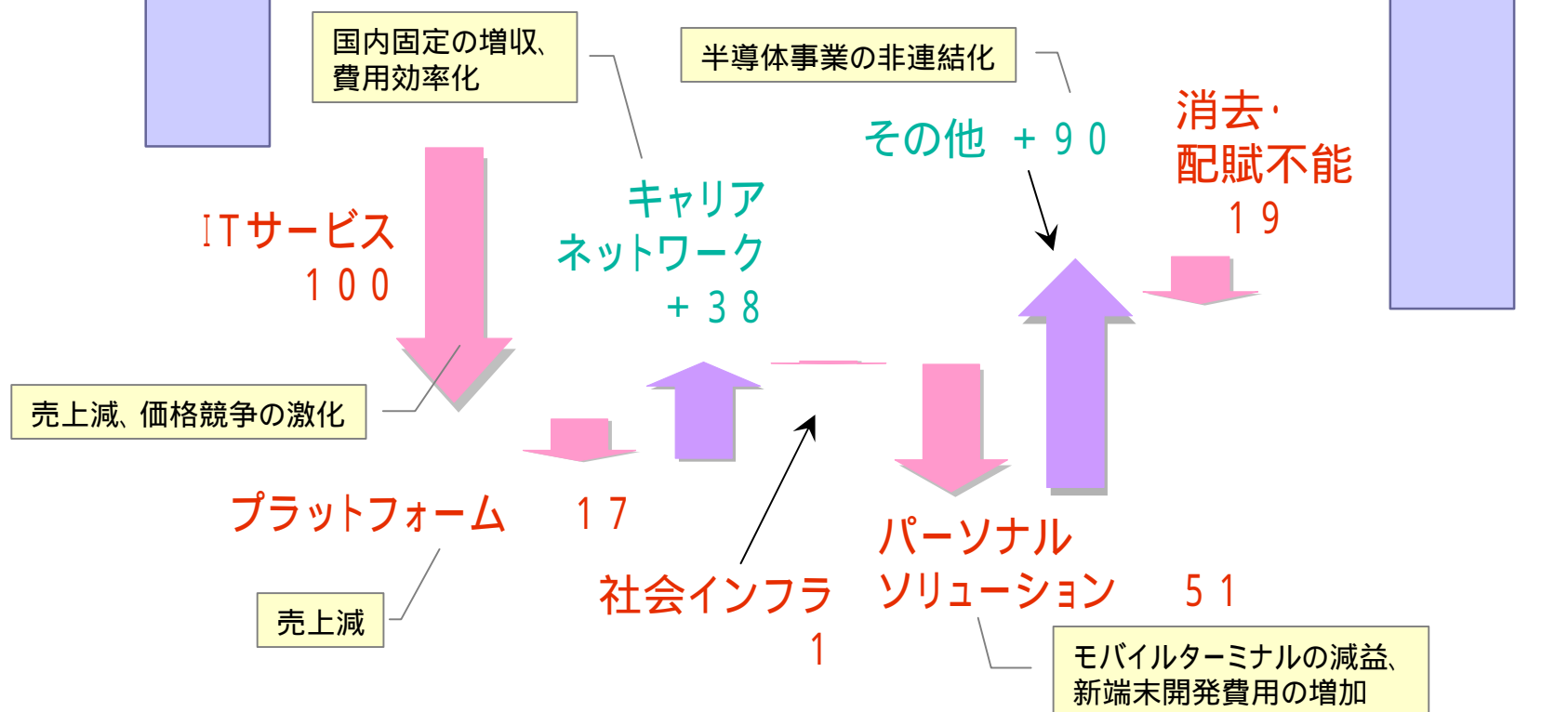
(億円)

09年度3Q
<10~12月>

75

10年度3Q
<10~12月>

135



セグメント別 第3四半期実績のポイント (前年同期比)

ITサービス	<ul style="list-style-type: none"> ● <u>国内IT投資の回復遅れ、大型案件減少の影響により減収</u> ● <u>売上減、価格競争の激化などにより減益</u> 	✓
プラットフォーム	<ul style="list-style-type: none"> ● ソフトウェアが好調もハードウェアが減少し減収 ● ハードウェアの減収に伴い減益 	
キャリアネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> ● 海外移動が減少も国内固定の増加で増収 ● 国内固定の増収および費用効率化に伴い増益 	
社会インフラ	<ul style="list-style-type: none"> ● 交通、消防など社会システム分野が増収 ● プロジェクト構成の変化はあるも前年同期並みの利益を確保 	
パーソナルソリューション	<ul style="list-style-type: none"> ● 携帯電話機事業の統合効果により増収 ● <u>モバイルターミナルの減益、新端末開発費用の増加</u> 	✓
その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 半導体事業の非連結化などにより減収 ● 前年に営業損失を計上した半導体事業の非連結化により改善 	

各セグメントの上段は売上高、下段は営業損益に関するポイント

当期純損益増減 (前年同期比)

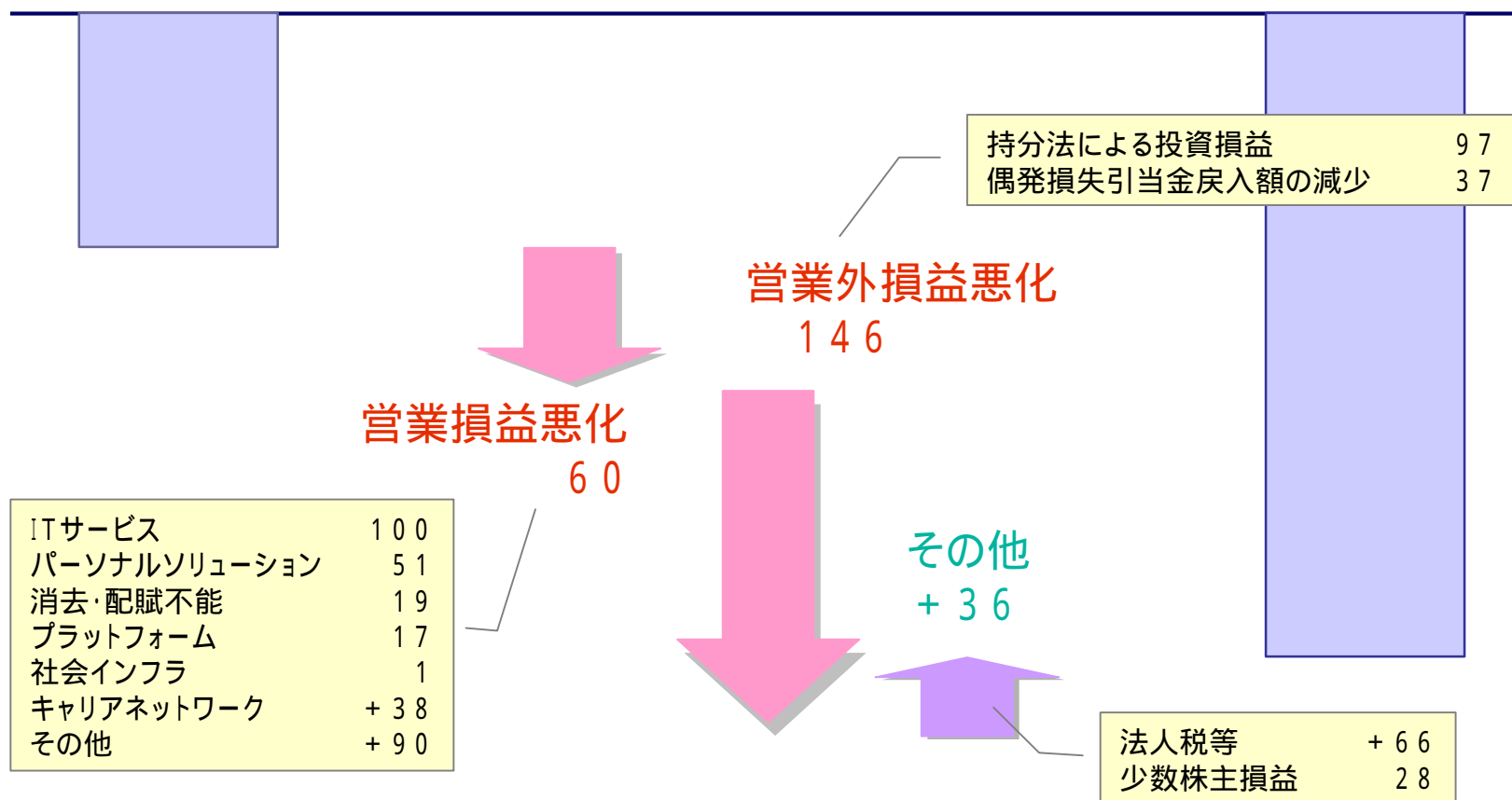
(億円)

09年度3Q
<10~12月>

96

10年度3Q
<10~12月>

265



. 通期業績予想

業績予想サマリー

(単位:億円)

	第4四半期 1～3月			通期			10/28 予想比
	09年度 実績	10年度 予想	前年 同期比	09年度 実績	10年度 予想	前年度比	
売上高	11,041	11,101	0.5%	35,831	33,000	7.9%	0
営業利益 対売上高比率 (%)	961 8.7%	1,124 10.1%	163	509 1.4%	1,000 3.0%	491	0
経常利益 対売上高比率 (%)	1,057 9.6%	1,042 9.4%	15	494 1.4%	550 1.7%	56	0
当期純利益 対売上高比率 (%)	646 5.9%	686 6.2%	39	114 0.3%	150 0.5%	36	0
1株当たり 当期純利益 (円)				5.04	5.77	0.73	0.00
フリーキャッシュフロー	1,685	1,445	240	936	500	1,436	0

参考：10年度第4四半期の為替レート前提 1ドル=80円、1ユーロ=110円

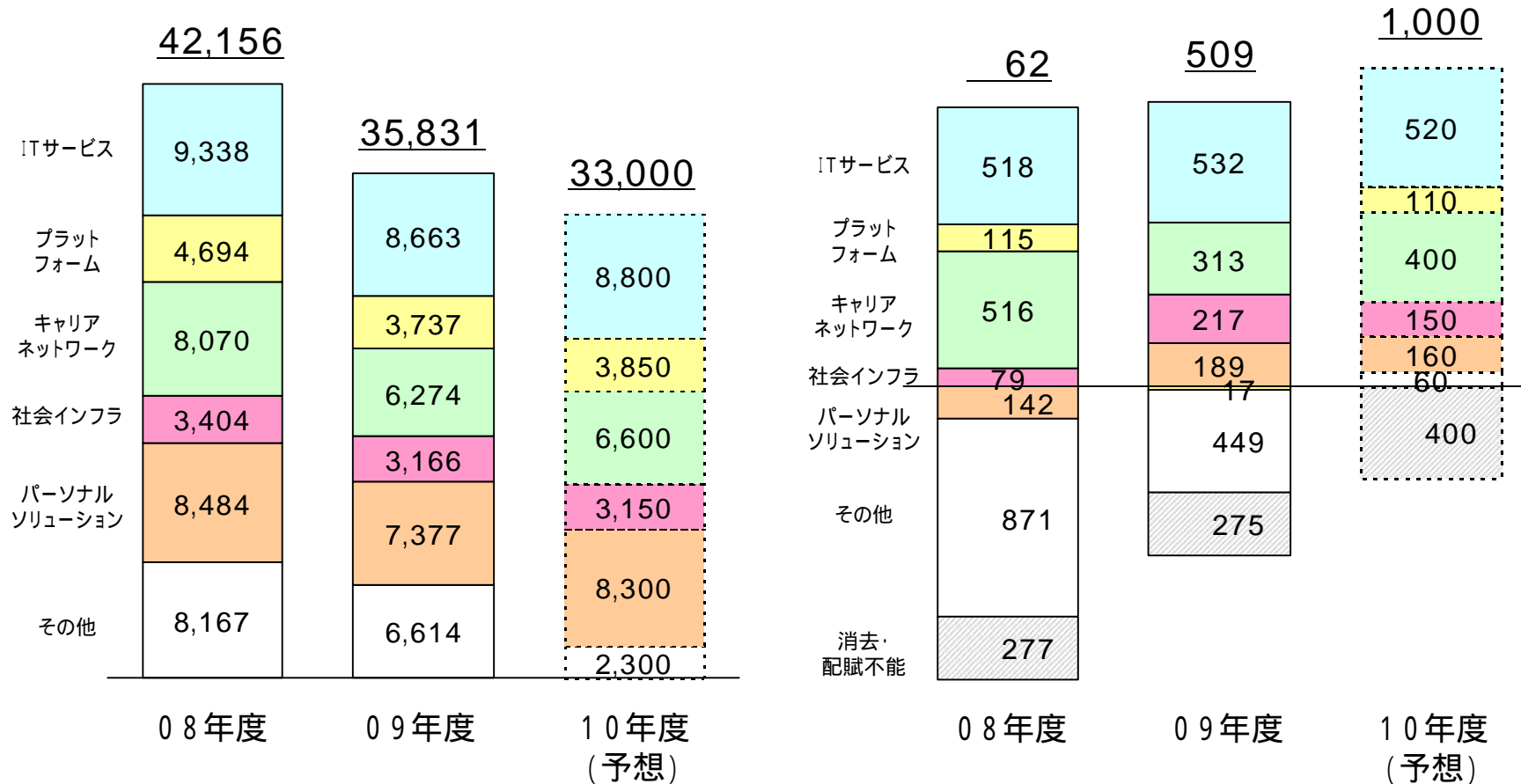
予想値は、2011年1月27日現在

セグメント別 通期業績予想

(億円)

売上高

営業損益



予想値は、2011年1月27日現在 (注：10月28日の前回予想からの変更はありません)

セグメント別 業績予想サマリー

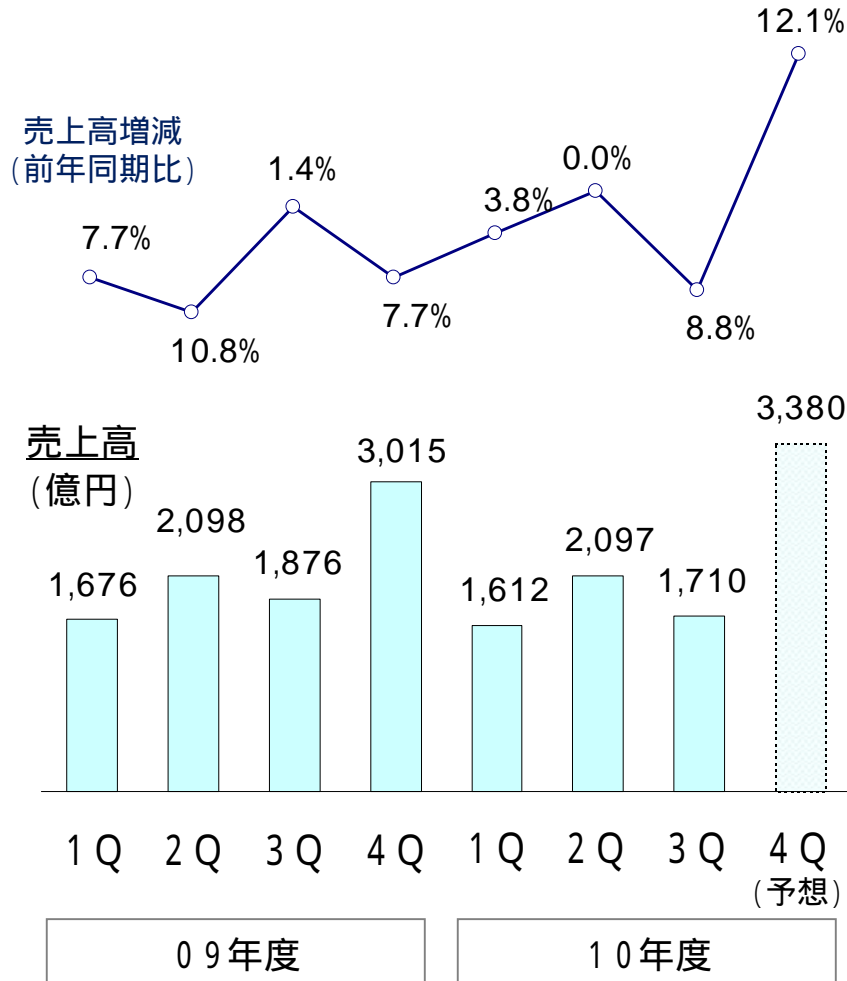
(単位:億円)

			第4四半期 <1~3月>			通期			10/28 予想比
			09年度 実績	10年度 予想	前年 同期比	09年度 実績	10年度 予想	前年度比	
I T サービス	売上高	3,015	3,380	12.1%	8,663	8,800	1.6%	0	
	営業利益	402	551	149	532	520	12	0	
	営業利益率 (%)	13.3%	16.3%		6.1%	5.9%			
プラットフォーム	売上高	1,206	1,257	4.3%	3,737	3,850	3.0%	0	
	営業損益	121	145	25	17	110	127	0	
	営業利益率 (%)	10.0%	11.6%		-	2.9%			
キャリアネットワーク	売上高	1,759	2,433	38.3%	6,274	6,600	5.2%	0	
	営業利益	169	272	102	313	400	87	0	
	営業利益率 (%)	9.6%	11.2%		5.0%	6.1%			
社会インフラ	売上高	1,222	1,105	9.5%	3,166	3,150	0.5%	0	
	営業利益	184	105	79	217	150	67	0	
	営業利益率 (%)	15.1%	9.5%		6.9%	4.8%			
パーソナル ソリューション	売上高	1,987	2,449	23.3%	7,377	8,300	12.5%	0	
	営業利益	72	147	75	189	160	29	0	
	営業利益率 (%)	3.6%	6.0%		2.6%	1.9%			
その他	売上高	1,852	476	74.3%	6,614	2,300	65.2%	0	
	営業損益	4	17	13	449	60	509	0	
	営業利益率 (%)	0.2%	3.5%		-	2.6%			
消去・配賦不能	営業損益	9	113	122	275	400	125	0	
合 計	売上高	11,041	11,101	0.5%	35,831	33,000	7.9%	0	
	営業利益	961	1,124	163	509	1,000	491	0	
	営業利益率 (%)	8.7%	10.1%		1.4%	3.0%			

予想値は、2011年1月27日現在

ITサービス事業の状況

四半期別売上高推移



顧客の売上拡大や 経営課題解決への提案に注力

SI事業

- スマートフォン向けサービス基盤など時流を捉えた提案の強化
- アジアでの日系企業向け拡販強化
- 新興国でのパブリックセーフティ事業拡大

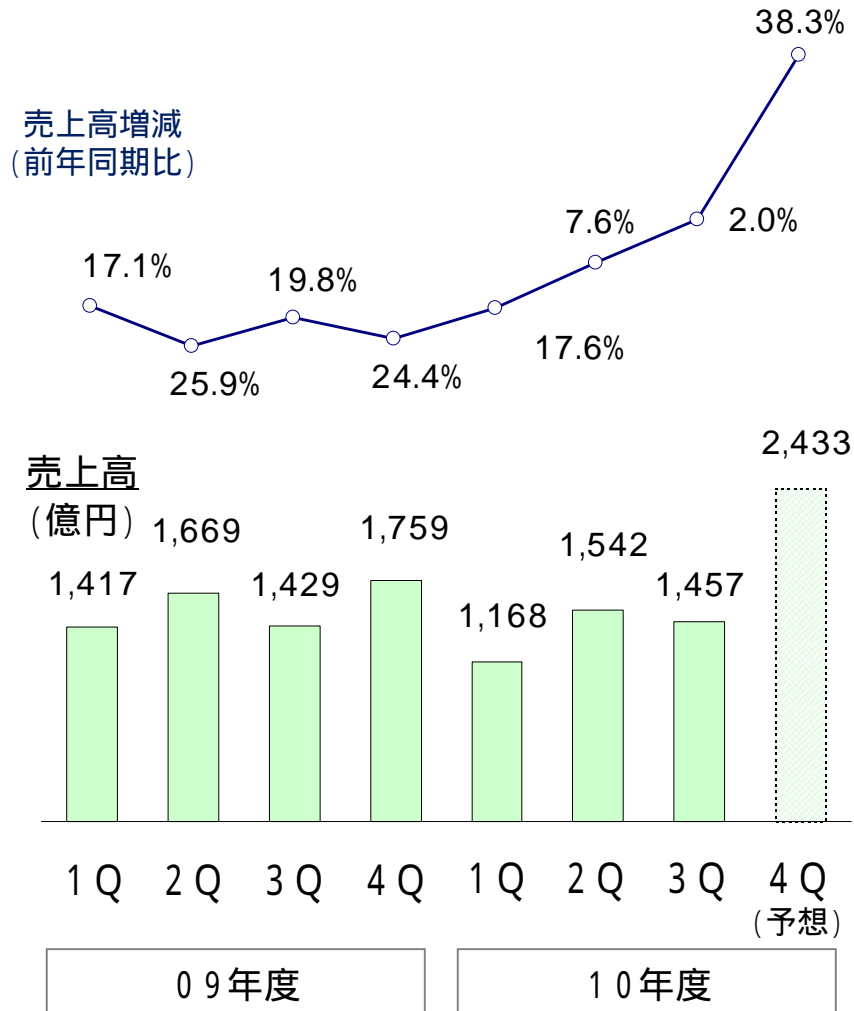
サービス事業

- 「RIACUBE-V」による高まるプライベートクラウド需要の取り込み
- お客様業種毎のSaaSメニューの更なる拡充と拡販
- オンサイトLCMサービスやデータセンターサービスの拡販
- 欧州・中南米でのキャリア向けサービスの受注獲得

予想値は、2011年1月27日現在

キャリアネットワーク事業の状況

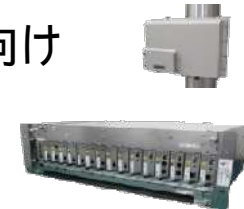
四半期別売上高推移



4重点領域を中心に売上拡大

ワイヤレスブロードバンドアクセス

- 国内移動はトラフィック増対応で堅調
- LTEは、国内の先行顧客向けプロジェクトを着実に遂行



海洋システム

- 大型プロジェクトの売上計上により回復の見込み

モバイルバックホール

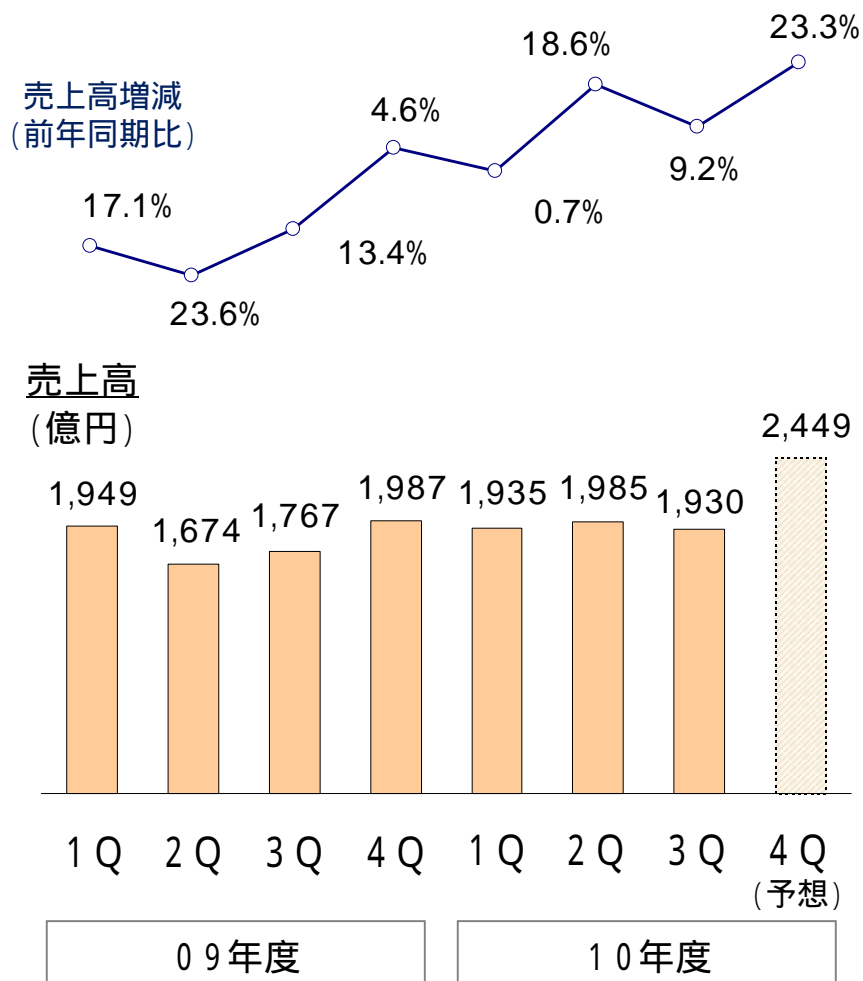
- トルコ、ロシア向けなどのプロジェクトが売上回復に寄与
- iPASOLINK (新製品) の立ち上がり



予想値は、2011年1月27日現在

パーソナルソリューション事業の状況

四半期別売上高推移



新端末の事業機会の取り込みに注力

モバイルターミナル

- アンドロイド搭載のスマートフォンを海外市場向けは年度内に投入、国内市場向けも早期投入に向けて開発体制を強化

PCその他

- ビジネス系商品 (ビジネスPC、パブリックディスプレイ、デジタルシネマなど) や個人向け商品 (高付加価値PCやWiMAXルータなど) での売上拡大
- アンドロイド搭載「LifeTouch」の製品ラインナップ拡充



370g
7インチ



530g
7インチ
2画面

予想値は、2011年1月27日現在

まとめ

■ 通期業績予想の達成

- 営業利益1,000億円、当期純利益150億円の達成

■ 中期経営計画 V2012の注力領域で 具体的な取り組みを加速

- クラウド、グローバル、新規事業における具体的な事例を
着実に積み上げ
- 今後の成長に向けた種蒔きに注力

V2012初年度の業績予想達成に向けて、スピード経営を実践

予想値は、2011年1月27日現在（注：10月28日の前回予想からの変更はありません）

《参考》“C & Cクラウド戦略の推進”の進捗

業種別サービスを相次ぎ発表

- 鉄道事業者向け経理基幹システムをクラウドサービスで提供
- 大学の図書館向け業務システムをSaaS型で提供
- 信販クレジットカード総合サービスの提供を開始
- 医薬品メーカーの営業基盤を支える実消化クラウドサービスの開始

クラウドサービス事業におけるSAP社との協業

奈良県下7市町に基幹システムのクラウドサービスを提供

中部データセンターの設置

クラウドプラットフォームサービス「RIACUBE V」の提供開始

KDDIで共同開発したRFID機能搭載携帯電話を活用したモバイルクラウド・サービス分野で提携

NTTドコモのLTEに対応した新しい携帯電話サービス「Xi」(クロッシィ)に貢献

KDDIのLTEフィールド実証実験に参画

中国WRI社と次世代ワイヤレスブロードバンドアクセス「LTE」インフラ分野で協業

《参考》 “グローバル事業の拡大” の進捗

- 中国WRI社と次世代ワイヤレス
ブロードバンドアクセス「LTE」
インフラ分野で協業
- JALホテルズ「ホテル・ニッコー無錫」
ホテルの基幹業務システムとIP電話
システムを納入
- シンガポールテレコム社の
LTEフィールド実証実験に成功
- NRI上海と中国大連市の港湾基盤
システム構築に参画
- テレフォニカ社の
LTEフィールド実証実験に参画
- IBM製セキュリティソフトと連携した
指紋認証製品を発売
- NECとSwisscomが欧州のホテル
チェーン「citizenM Hotel Group」
にクラウドによるコミュニケーションサー
ビスを提供
- NEC、インテル、マイクロソフトが
次世代デジタルサイネージ機器の
実現を目指し協業

《参考》“新規事業”の取り組み

経済産業省「低炭素型雇用創出産業立地推進事業費補助金」に採択され、高性能リチウムイオン二次電池用電極向け設備増強投資を開始

電気自動車（EV）向け会員制充電サービスの事業化を推進

電気自動車向け充電インフラの広域展開を可能とするクラウド型充電システムを開発



タブレット型端末 クラウドコミュニケーション「LifeTouch」の商品化および出荷開始



CES 2011において、タブレット型端末「LifeTouch」の2画面モデルを参考展示



Empowered by Innovation

NEC

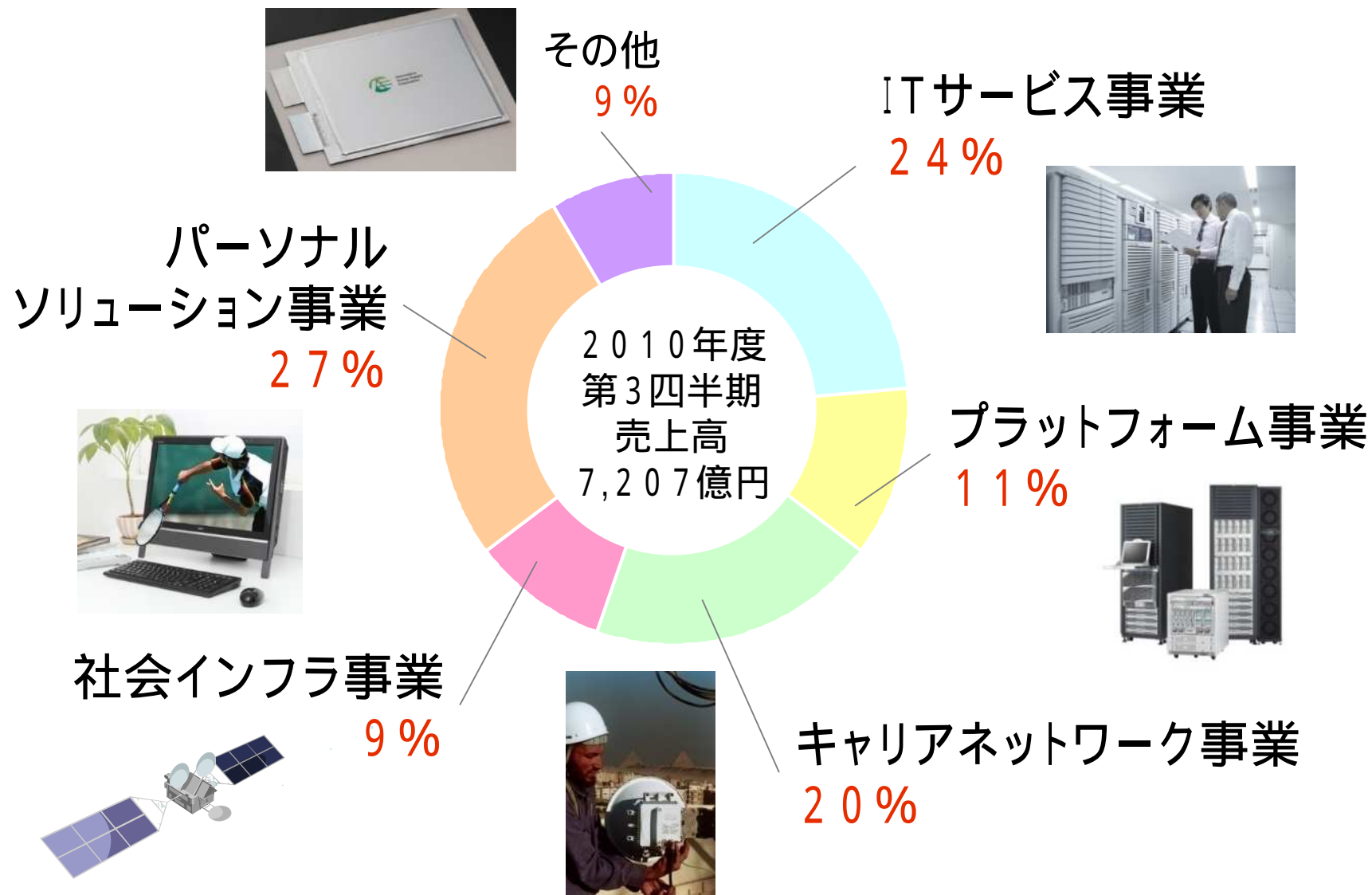
第3 四半期 決算 (補足)

セグメント別 第3四半期実績

(単位:億円)

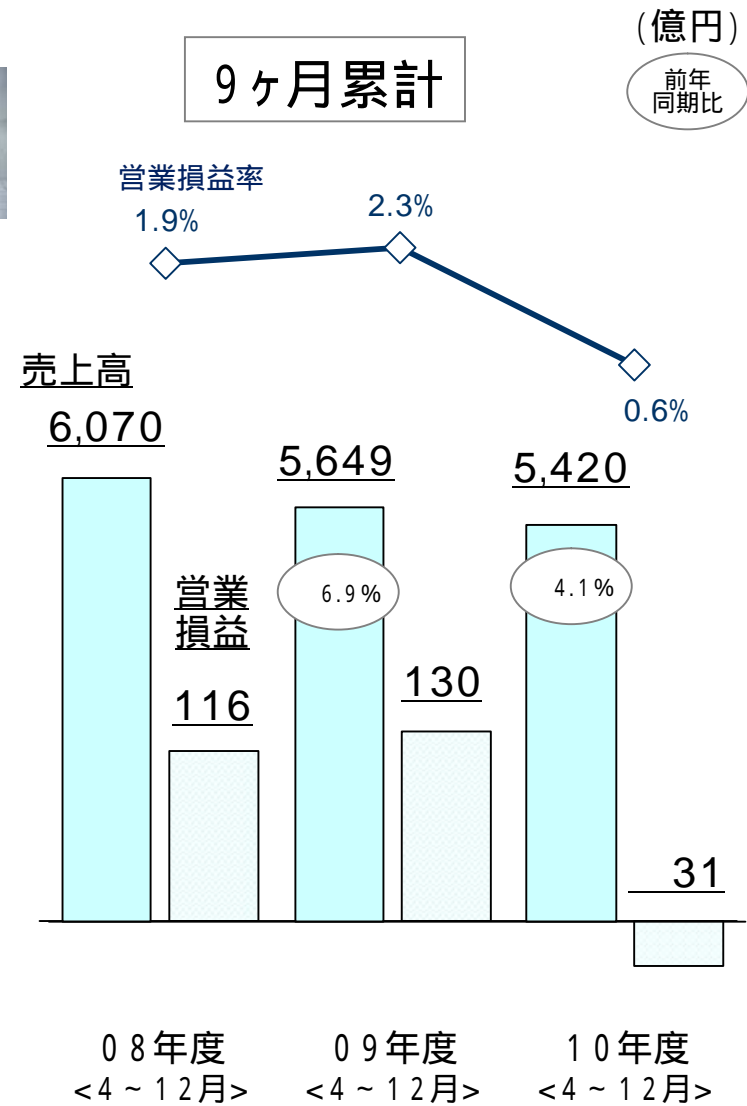
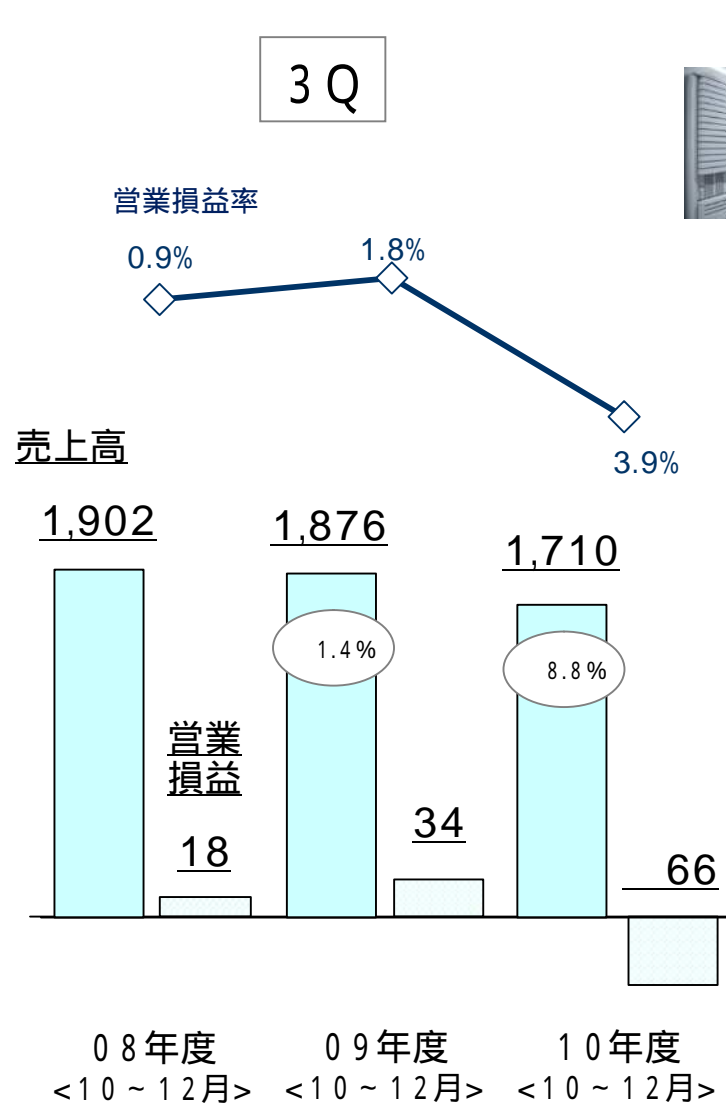
			第3四半期 <10~12月>			第3四半期累計期間 <9ヶ月>		
			09年度 実績	10年度 実績	前年 同期比	09年度 実績	10年度 実績	前年 同期比
I T サービス	売上高	1,876	1,710	8.8%	5,649	5,420	4.1%	
	営業損益 営業利益率 (%)	34 1.8%	66 -	100	130 2.3%	31 -	160	
プラットフォーム	売上高	870	825	5.1%	2,531	2,593	2.4%	
	営業損益 営業利益率 (%)	3 -	20 -	17	138 -	35 -	102	
キャリアネットワーク	売上高	1,429	1,457	2.0%	4,515	4,167	7.7%	
	営業利益 営業利益率 (%)	20 1.4%	58 4.0%	38	144 3.2%	128 3.1%	16	
社会インフラ	売上高	647	666	3.0%	1,944	2,045	5.2%	
	営業利益 営業利益率 (%)	6 0.9%	4 0.7%	1	33 1.7%	45 2.2%	12	
パーソナル ソリューション	売上高	1,767	1,930	9.2%	5,390	5,851	8.5%	
	営業損益 営業利益率 (%)	34 2.0%	16 -	51	116 2.2%	13 0.2%	104	
その他	売上高	1,665	619	62.8%	4,761	1,824	61.7%	
	営業損益 営業利益率 (%)	77 -	13 2.1%	90	453 -	43 2.4%	496	
消去・配賦不能	営業損益	90	109	19	285	287	2	
合 計	売上高	8,254	7,207	12.7%	24,791	21,899	11.7%	
	営業損益 営業利益率 (%)	75 -	135 -	60	452 -	124 -	328	

セグメント別 売上高構成比



ITサービス事業

第3四半期



ITサービス事業

(前年同期比)

売上高 1,710億円 (8.8%)

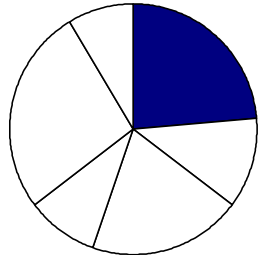
▽ SIサービス :

国内IT投資の回復遅れ、大型案件の減少により減収

▽ アウトソーシング / サポートサービス :

サポートサービスが減収となるも、
クラウドサービスやアウトソーシングは堅調

売上高構成比
<10年度3Q>
24%

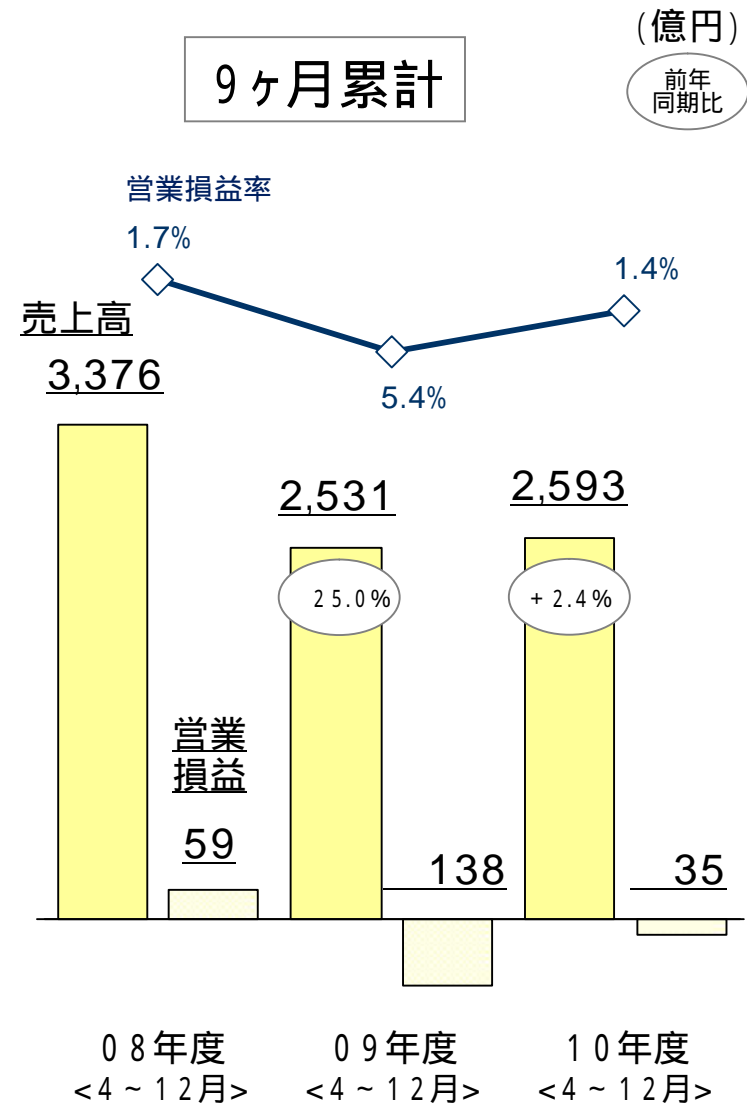
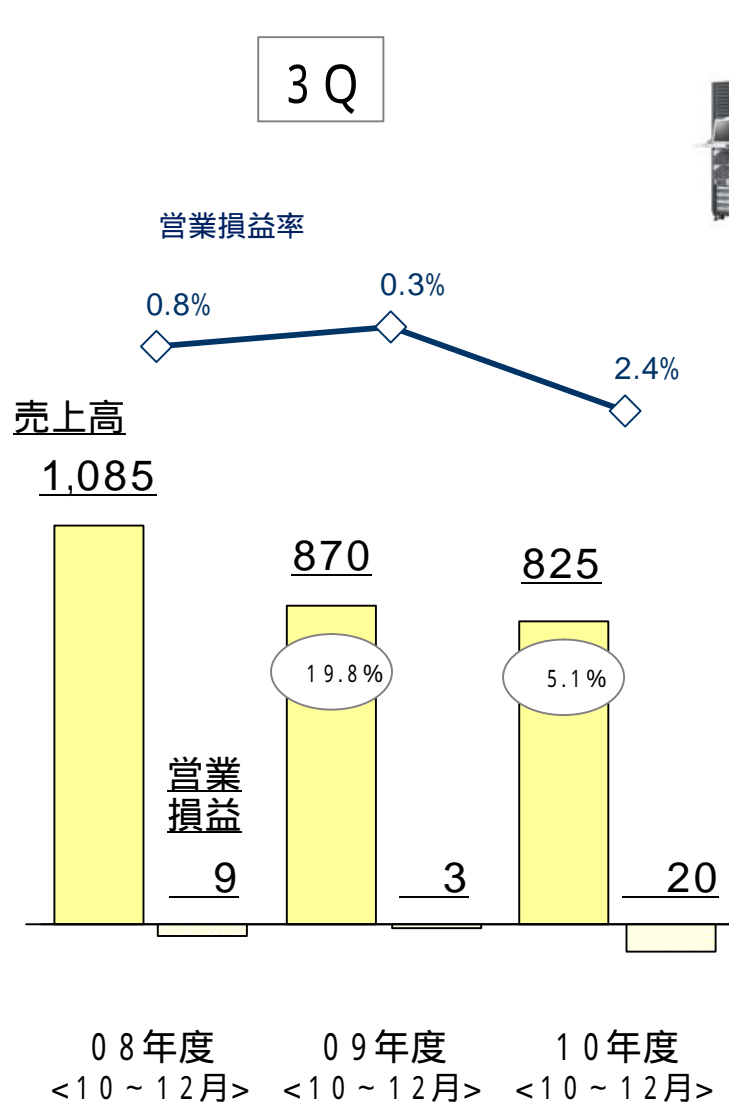


営業損益 66億円 (100億円)

▽ 売上減に加え、サービス / グローバル関連事業拡大
に向けた投資増や不採算案件により減益



プラットフォーム事業



プラットフォーム事業

(前年同期比)

売上高 825億円 (5.1%)

△ ソフトウェア :

仮想化によるシステム統合、運用管理領域、コンプライアンス
対応に向けたセキュリティ領域の伸張により増収

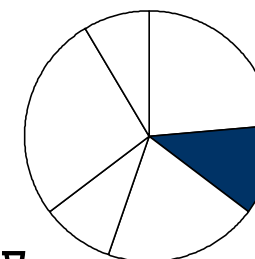
▽ ハードウェア :

IAサーバは堅調に推移するものの、大型案件の減少により減収

▷ 企業ネットワーク :

国内外での緩やかな投資回復により前年同期並みを確保

売上高構成比
<10年度3Q>
11%

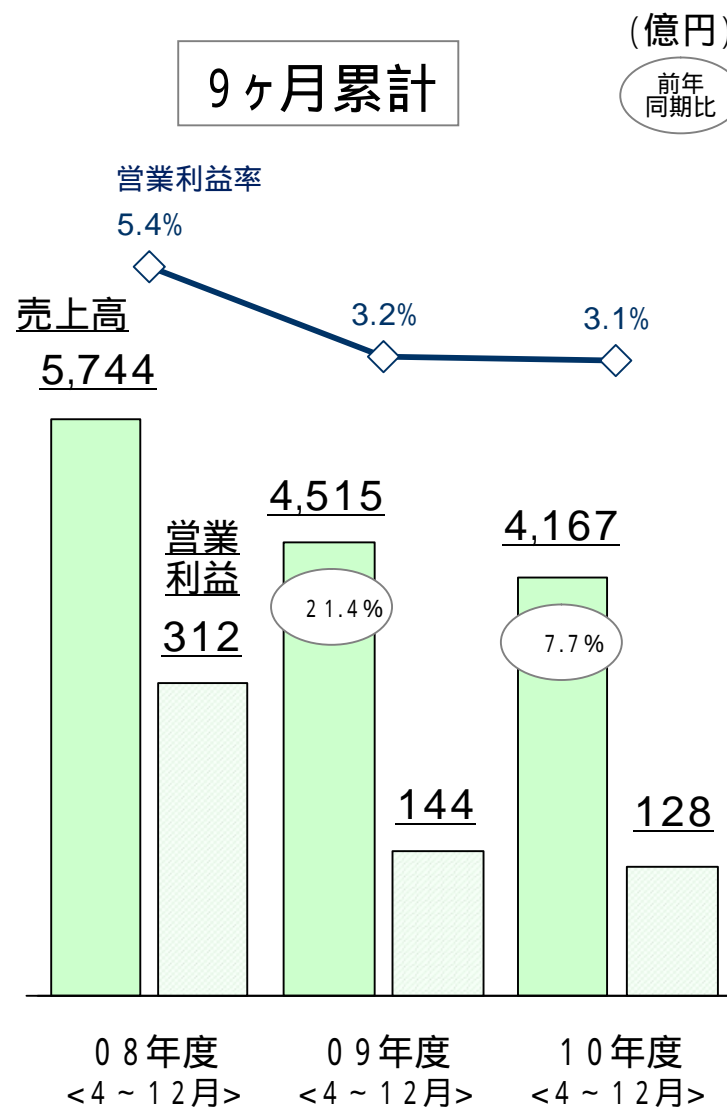
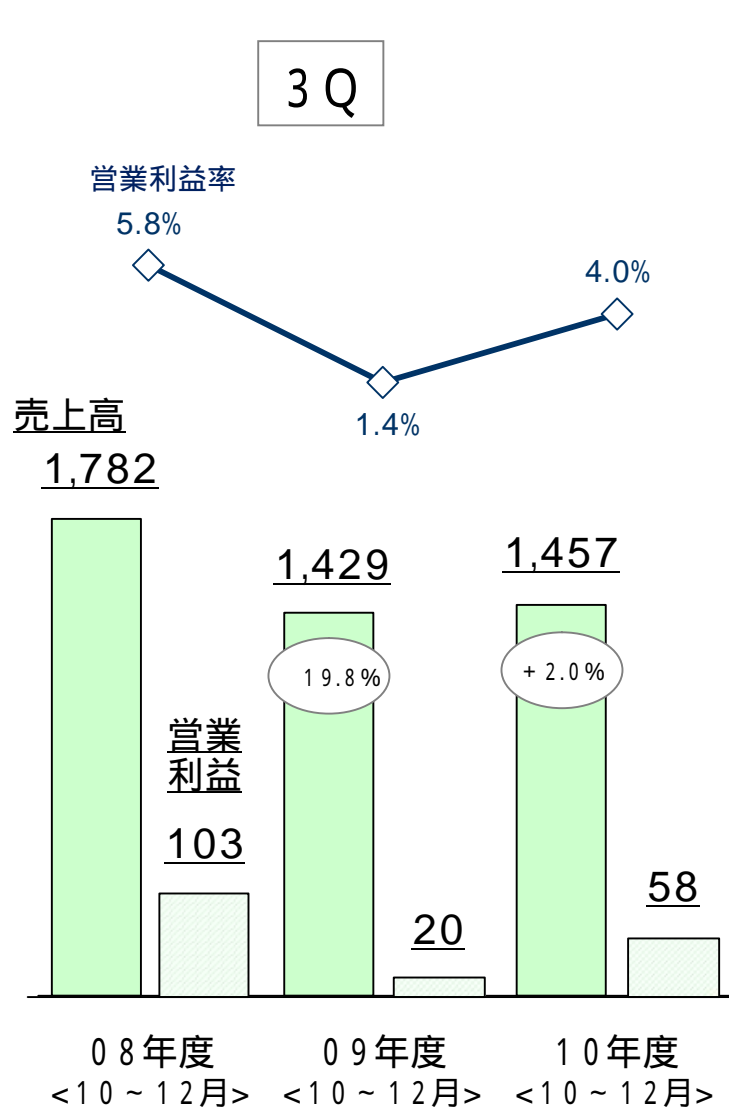


営業損益 20億円 (17億円)

▽ ハードウェアの減収により減益



キャリアネットワーク事業



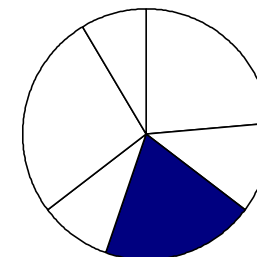
キャリアネットワーク事業

(前年同期比)

売上高 1,457億円 (+2.0%)

- △ 国内固定の増加で増収
- ▷ 海洋システムは増設プロジェクトや海洋観測システムなどの遂行により前年同期並み
(大型プロジェクトは第4四半期に売上計上の見込み)
- ▽ パソリンクは為替の影響に加えて、事業環境の回復遅れなどにより減収

売上高構成比
<10年度3Q>
20%



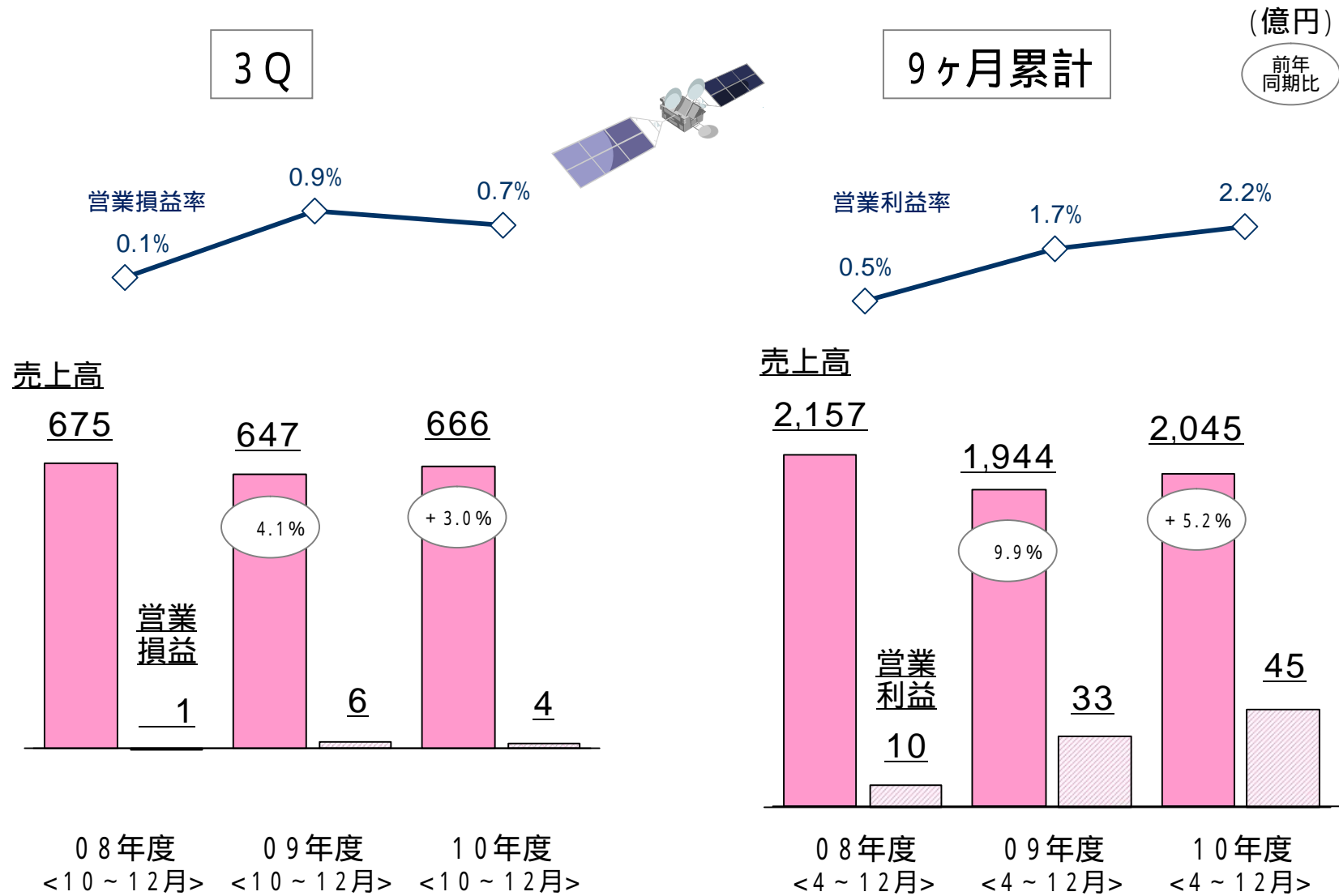
営業利益 58億円 (+38億円)

- △ 売上増および外注費などの費用効率化も含む
固定費改善などにより増益



社会インフラ事業

第3四半期



社会インフラ事業

(前年同期比)

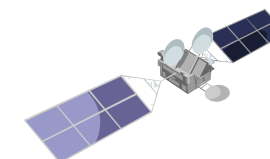
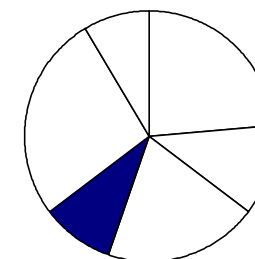
売上高 666億円 (+3.0%)

△ 交通、消防など社会システム分野の売上増加により増収

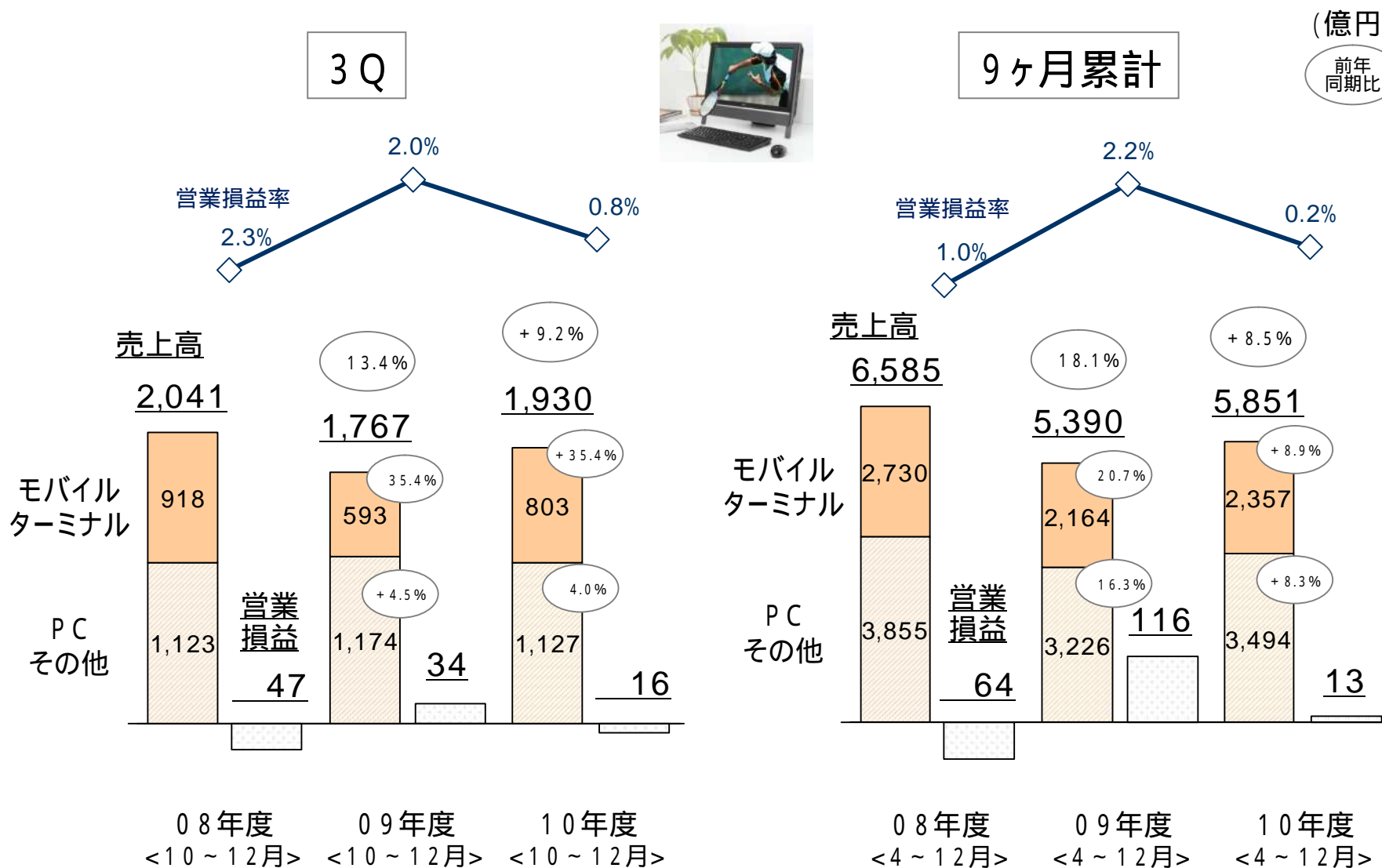
営業利益 4億円 (1億円)

▷ 売上は増加するもプロジェクト構成の変化などにより
ほぼ前年同期並み

売上高構成比
<10年度3Q>
9%



パーソナルソリューション事業



パーソナルソリューション事業

(前年同期比)

売上高 1,930億円 (+9.2%)

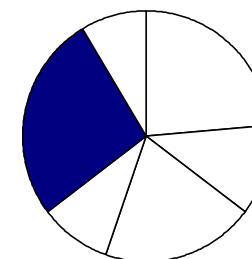
△ モバイルターミナル :

国内外市場がスマートフォンにシフトし、既存端末の販売が不振だったものの、事業統合効果により増収

▽ PCその他 :

出荷台数は前年同期並みも単価下落の影響により減収

売上高構成比
<10年度3Q>
27%

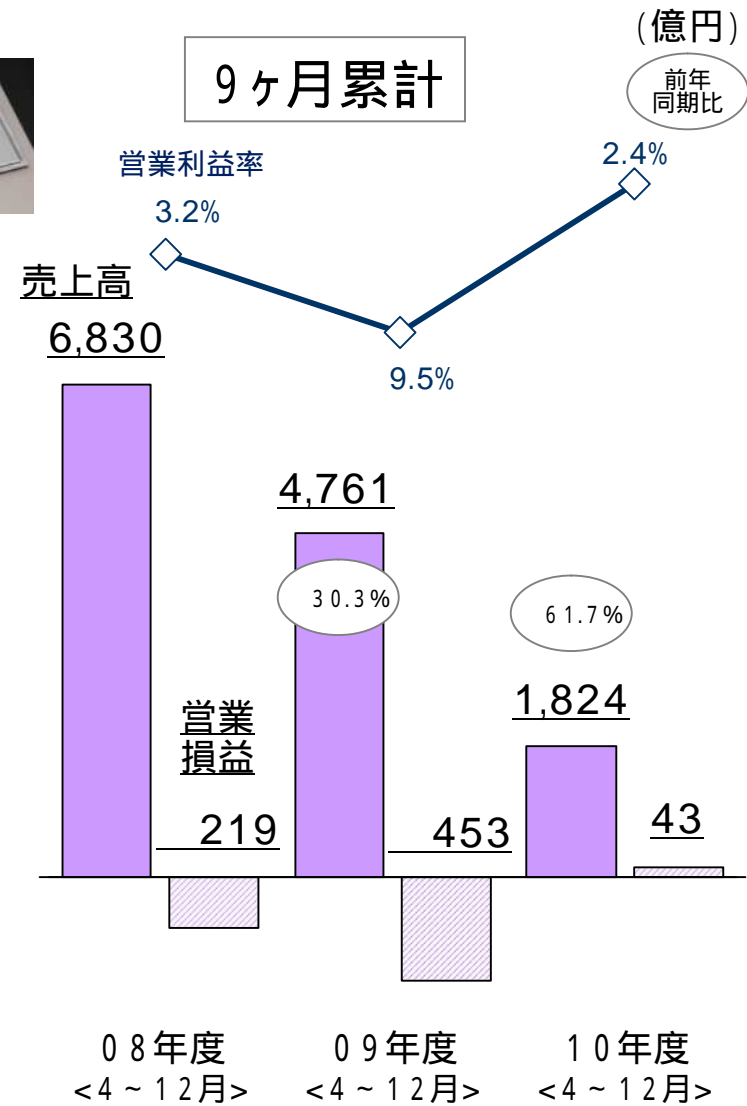
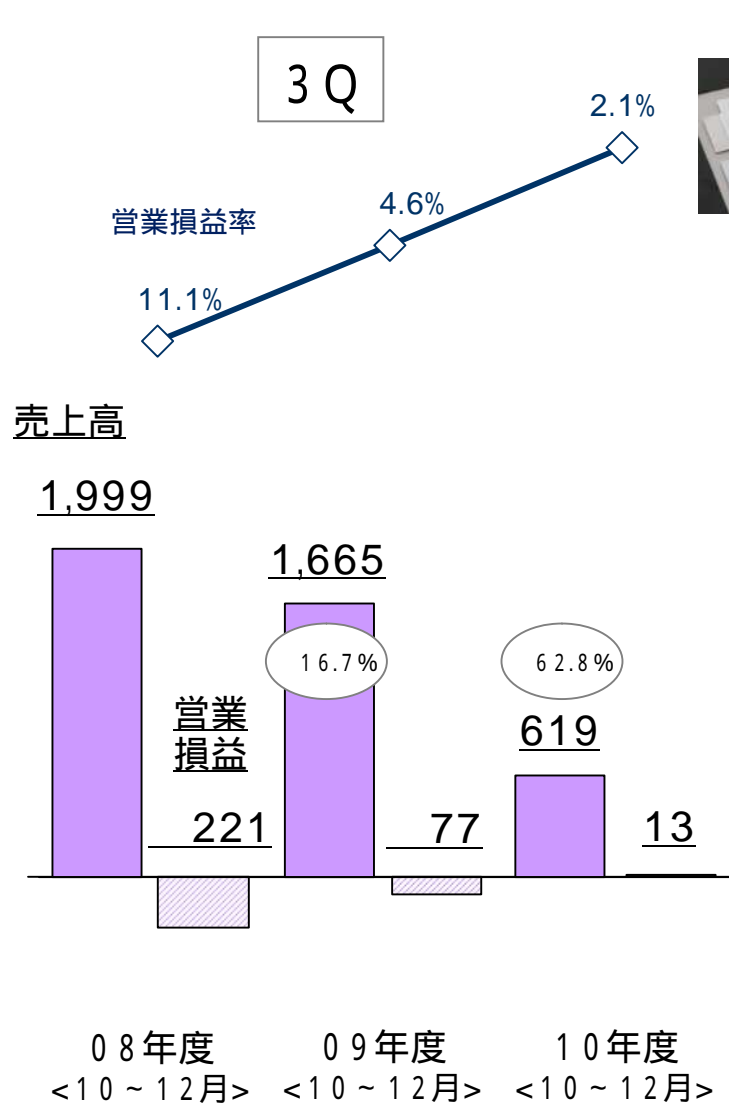


営業損益 16億円 (51億円)

▽ モバイルターミナルの減益およびLifeTouch、スマートフォンなどの新端末開発費用の増加により減益



その他



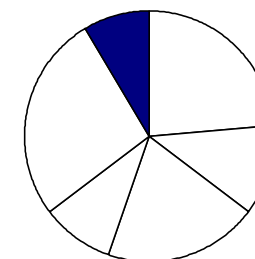
その他

(前年同期比)

売上高 619億円 (62.8%)

- ▽ NECエレクトロニクス (現 ルネサス エレクトロニクス) が連結子会社でなくなったことなどにより減収。
- △ リチウムイオン二次電池用電極事業は順調な立ち上がり

売上高構成比
<10年度3Q>
9%



営業損益 13億円 (+90億円)

- △ 前年同期に営業損失を計上した NECエレクトロニクス (現 ルネサス エレクトロニクス) が連結子会社でなくなったことなどにより改善



《参考》 財政状態に関する経営指標

(単位:億円)

	10/3末	10/12末	10/3末比	09/12末
総資産	29,376	26,133	3,244	29,383
純資産	9,319	8,275	1,044	8,441
有利子負債残高	7,295	7,268	27	8,332
自己資本	7,909	7,098	811	7,180
自己資本比率 (%)	26.9%	27.2%	0.3pt	24.4%
D/Eレシオ (倍)	0.92	1.02	0.10pt	1.16
ネットD/Eレシオ (倍)	0.50	0.78	0.28pt	0.79
現金及び現金同等物の 期末残高	3,305	1,716	1,590	2,654

《参考》 設備投資額と主な費用の推移

(単位:億円)

	08年度 実績	09年度 実績	前年度比	10年度 予想	前年度比	10/28 予想比
設備投資額	1,031	831	19.4%	750	9.7%	0
減価償却費	1,336	1,112	16.8%	750	32.6%	0
研究開発費	3,465	2,760	20.3%	2,000	27.5%	0

(単位:億円)

	09年度 3Q実績	前年 同期比	10年度 3Q実績	前年 同期比
研究開発費	644	22.4%	459	28.7%

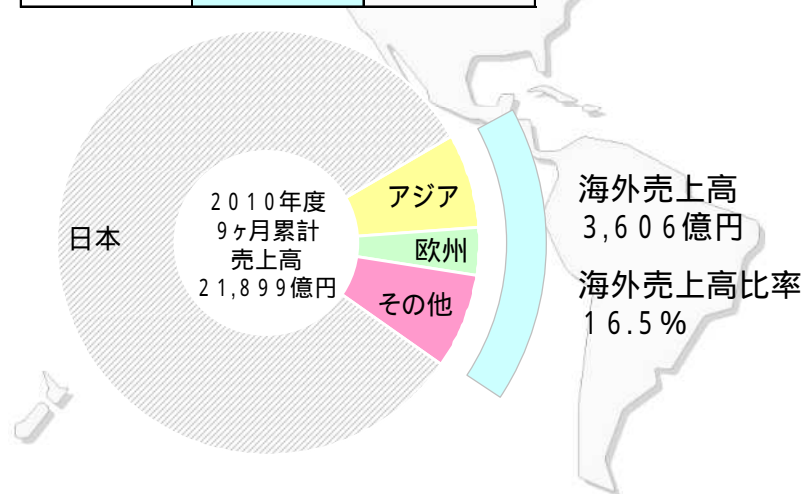


予想値は、2011年1月27日現在 (注: 10月28日の前回予想からの変更はありません)

《参考》海外売上高

(単位:億円)

		第3四半期 <10~12月>			第3四半期累計期間 <9ヶ月>			主な国または地域
		09年度 実績	10年度 実績	前年 同期比	09年度 実績	10年度 実績	前年 同期比	
アジア	売上高	800	364	54.5%	2,375	1,195	49.7%	中国、台湾、インド、 シンガポール、インドネシア
	連結売上高比率 (%)	9.7%	5.0%		9.6%	5.5%		
欧州	売上高	413	297	28.3%	1,230	801	34.9%	イギリス、フランス、オランダ、 ドイツ、イタリア、スペイン
	連結売上高比率 (%)	5.0%	4.1%		5.0%	3.7%		
その他	売上高	539	515	4.4%	1,656	1,609	2.8%	アメリカ
	連結売上高比率 (%)	6.5%	7.1%		6.6%	7.3%		
合計	売上高	1,752	1,175	32.9%	5,261	3,606	31.5%	
	連結売上高比率 (%)	21.2%	16.3%		21.2%	16.5%		



売上高は顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しています。

《参考》 主要な新製品・新ソリューション

(発表日)

- 国内初、鉄道事業者向け経理基幹システムをクラウドサービスで提供 (12/8)
- 信販クレジットカード総合サービスの提供を開始～クラウドサービスとしてSaaS型で提供～ (11/10)
- 医薬品メーカーの営業基盤を支える実消化クラウドサービスの開始 (11/8)
- オフィスなどに求められるコミュニケーション機能を低価格で実現する「UNIVERGE Business ConneCT」の国内販売を開始 (11/1)
- 質の高い教育を支援する学校向け教育クラウドサービス「Nao(R)Webサービス」の発売 (10/4)
- オフィスソリューションをクラウドサービスで提供～販売パートナーとの連携を強化し、グローバルに拡販～ (9/16)
- 地方公共団体の基幹業務システムをSaaS型で提供する「GPRIME for SaaS」を強化 - 証明書等のコンビニ交付を実現 - (9/2)
- 海外向け超小型マイクロ波通信システム“PASOLINK”の事業強化～「iPASOLINK」シリーズの発売～ (9/1)
- ホテル向けのサービスをネットワーク経由で提供するホテル総合クラウドサービスを発売 (6/23)
- データセンター向け省電力サーバ「Express5800/ECO CENTER」ラインナップ強化 (5/17)
- 小規模病院向け電子カルテシステムを SaaS型で提供する「MegaOakSR for SaaS」発売 (5/10)
- タブレット型端末 クラウドコミュニケーター「LifeTouch(TM)」の商品化および出荷開始 (11/10)
- 離席を感知してモニタを自動OFFし消費電力量を削減する液晶一体型PCなどビジネスPCのラインアップを一新 (10/4)
- 3Dの立体表示を実現し、臨場感あふれる映像や画像を体感できる省スペース一体型PC「VALUESTAR N」の発売 (5/27)
- クラウド環境で多様なソフトウェアにアクセスポリシーを自動設定する技術を開発 (1/11)
- 美しい肌色を表現する画像処理技術を開発～自分らしさを活かした顔画像の高画質化を、高速に実現～ (12/1)
- 動く被写体の高精細さを復元できる複数枚超解像技術を開発～過去の映像を高品質にフルハイビジョン化～ (11/10)
- 実用レベルの薄くて曲がる有機ラジカル電池を開発～高機能ICカードやウェアラブル端末へ利用可能に～ (11/5)
- 非食用の植物資源を用いて高植物成分率と高機能を世界で初めて両立したバイオプラスチックを開発 (8/25)
- クラウド環境においてIT資源とネットワーク資源を統合制御できる技術を開発 (7/1)
- 瞬時に違法コピー動画を発見できる映像識別技術を開発～国際標準規格 (MPEG-7) に採用～ (5/7)
- IT機器の冷却電力を半減する冷却モジュールを開発～相変化冷却を利用し、データセンターの省エネ実現に向けて～ (4/15)



LifeTouch

《参考》 主要な広報発表 (1 / 2)

(発表日)

[受注/納入など]

- NECとSwisscomが欧州のホテルチェーン「citizenM Hotel Group」にクラウドによるコミュニケーションサービスを提供 (1/17)
- 広島大学で大規模なシンクライアントシステムを構築～従来システムと比べてCO2排出量を約67%削減～ (12/14)
- 奈良県下7市町に基幹システムのクラウドサービスを提供～「GPRIME for SaaS」で実現～ (12/7)
- 東京国際空港・新国際線ターミナルビルへ情報通信システムとデジタルサイネージを大規模納入 (10/20)
- NECがテレフォニカと仮想PC型シンクライアントによるクラウドサービスを提供～キャリアクラウド事業を拡大～ (10/19)
- セブン銀行と利便性と環境性能を追求した新型ATMを開発 (10/18)
- 福岡県糟屋南部3町(宇美町・志免町・須恵町)に基幹業務システムをクラウドで提供 (10/1)
- ブルガリアの放送事業者「タワーコム社」にデジタル放送用送信機を納入 (9/28)
- ノルウェーの国営郵便事業者に郵便自動化システムを納入 (9/27)
- マカオの最高級ホテル「マンダリン オリエンタル マカオ」にIP電話システムおよびIPTVシステムを納入 (9/22)
- 住友生命に資産運用システムのクラウドサービスを提供～SMI情報システムと金融機関向けクラウドサービス事業で協業～ (7/23)
- 光海底ケーブルシステム「APCN2」の増設プロジェクトを受注 (7/7)
- RFIDを活用した医療器具のリアルタイム所在管理システムと、医療用冷凍庫の温度管理システムをブラジルの病院に納入 (6/28)
- 中国三大空港のひとつである広州白雲国際空港の新ターミナル向けPOSシステムを受注 (6/18)
- エクセディ社より次期基幹システムプロジェクトを受注～グローバル会計システムのクラウドサービス提供～ (5/11)



東京国際空港・新国際線ターミナルビルへ
情報通信システムとデジタルサイネージを大規模納入

《参考》 主要な広報発表 (2 / 2)

(発表日)

[新事業など]

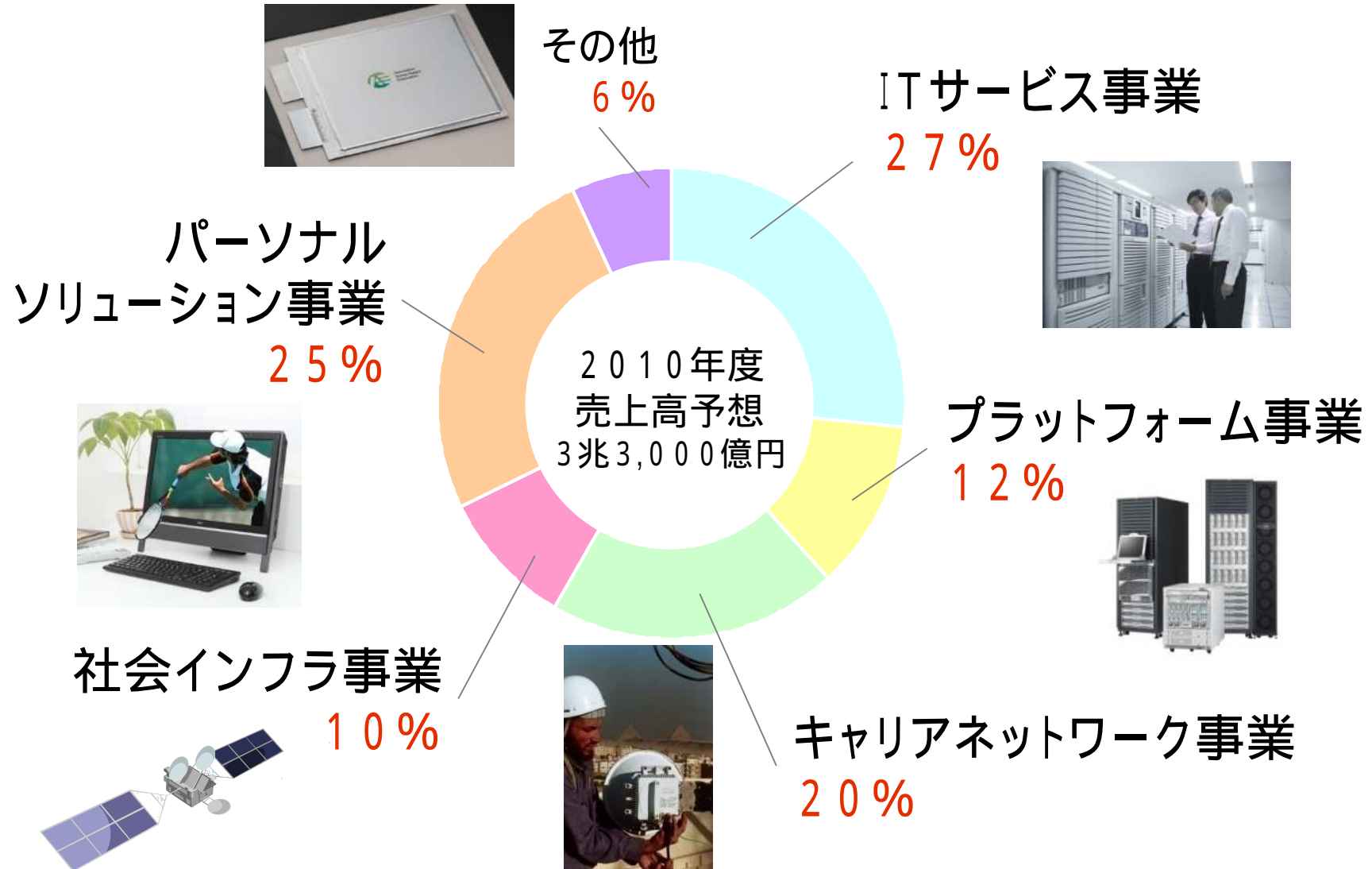
- NECとKDDIで共同開発したRFID機能搭載携帯電話を活用したモバイルクラウド・サービス分野で提携 (1/11)
- 高性能リチウムイオン二次電池用電極向け設備増強投資を開始へ (12/27)
- 電気自動車向け会員制充電サービスの事業化を推進～ユーザーの利便性向上を目指し、充電網の整備を図る～ (12/21)
- 電気自動車向け充電インフラの広域展開を可能とするクラウド型充電システムを開発 (11/8)
- NEC、インテル、マイクロソフトが次世代デジタルサイネージ機器の実現を目指し協業 (11/10)
- クラウドサービス事業におけるSAP社との協業 (11/4)
- 建設業界向け基幹業務クラウドサービスの企画で総合建設業4社と協業～業界共通サービス基盤を提供開始～ (10/7)
- 積水化学とスマートハウスの中核技術であるHEMS (ホームエネルギーマネジメントシステム) 領域で事業提携 (10/8)
- 米国電力中央研究所と大容量リチウムイオン蓄電システムの共同実証実験に合意 (9/29)
- 明電舎と「横浜スマートシティプロジェクト」でリチウムイオン電池を用いたビルエネルギーマネジメントシステムを共同開発 (9/1)
- 自動車用高性能リチウムイオン二次電池の電極を量産開始 (7/23)
- 住友林業と住宅業界向けクラウドサービス事業で協業～住宅関連事業者の業務全般を支援するシステムをSaaS型で提供～ (7/20)
- 生体認証技術分野のグローバル事業展開加速のためにインドに「NECバイオメトリクスエクセレンスセンター」を設置 (5/12)
- ヨーロッパに通信事業者向けクラウドビジネスを推進する「ヨーロッパクラウドコンピテンスセンター」を設置 (5/6)

[経営、提携・新会社設立・事業再編など]

- NECと中国WRI社が次世代ワイヤレスブロードバンドアクセス「LTE」インフラ分野で協業 (1/17)
- クラウド指向のサービス提供基盤によるNECの自社基幹システムが全領域で稼動開始 (10/25)
- NECと東軟集団が中国のクラウドサービス事業で協業 (8/31)
- NECと米SomaLogic社が、クラウドサービスを活用した新ヘルスケア事業で協業 (8/30)
- 中近東・アフリカ地域における事業体制の強化～トルコ新会社を中心に営業活動を加速～ (6/16)

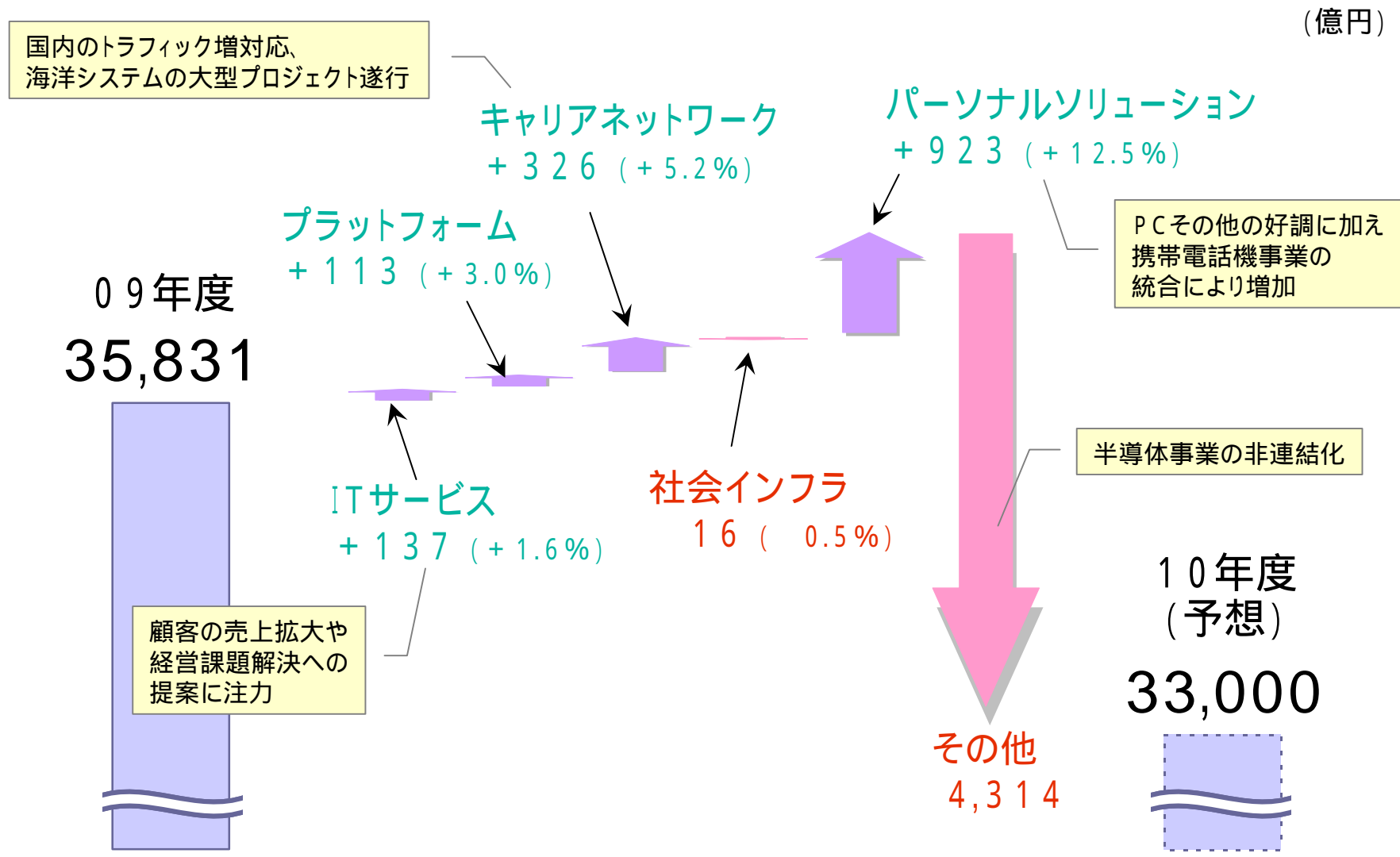
通期業績予想（補足）

セグメント別 売上高構成比予想



予想値は、2011年1月27日現在 (注：10月28日の前回予想からの変更はありません)

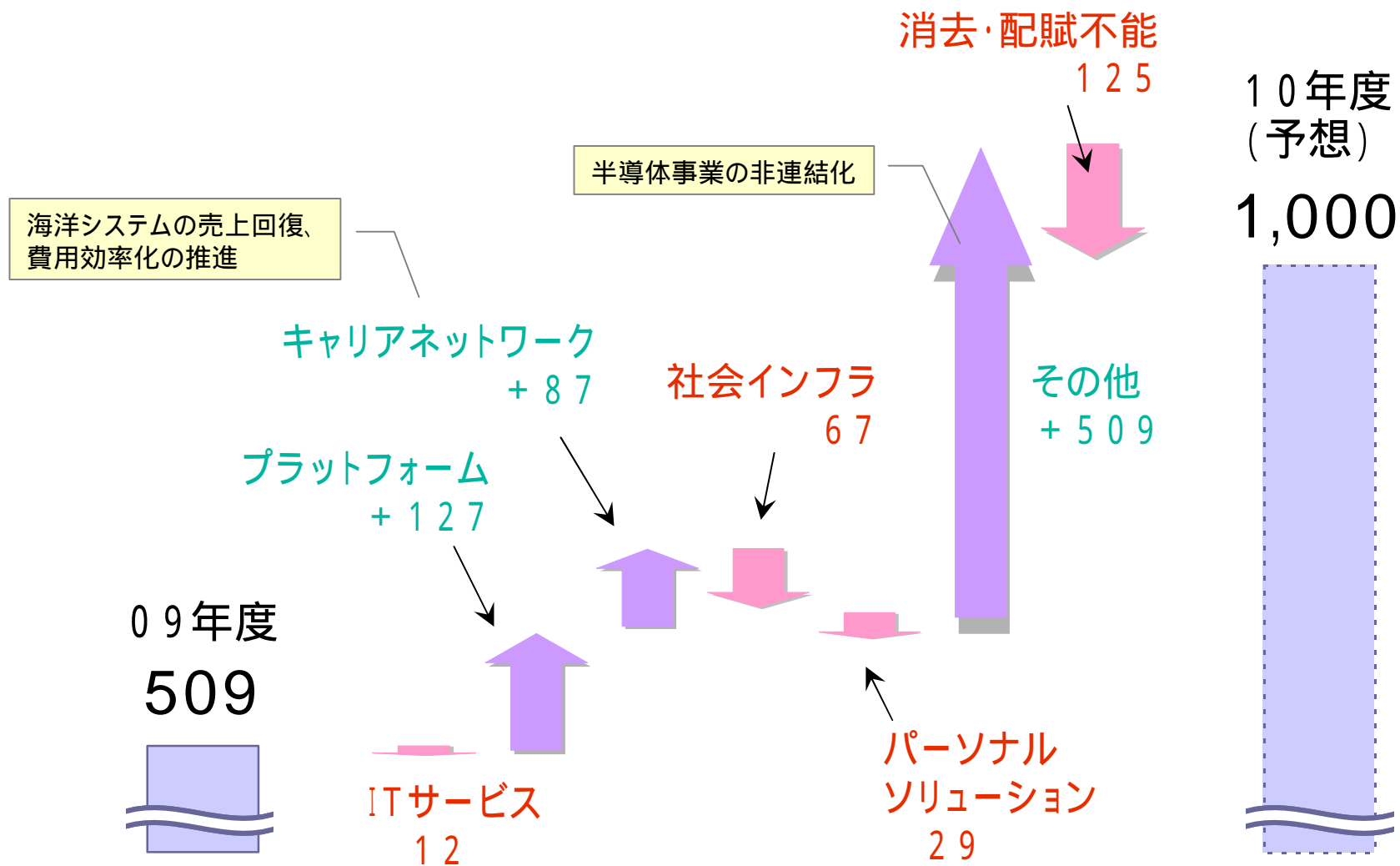
売上高増減 (前年度比)



予想値は、2011年1月27日現在 (注：10月28日の前回予想からの変更はありません)

営業利益増減 (前年度比)

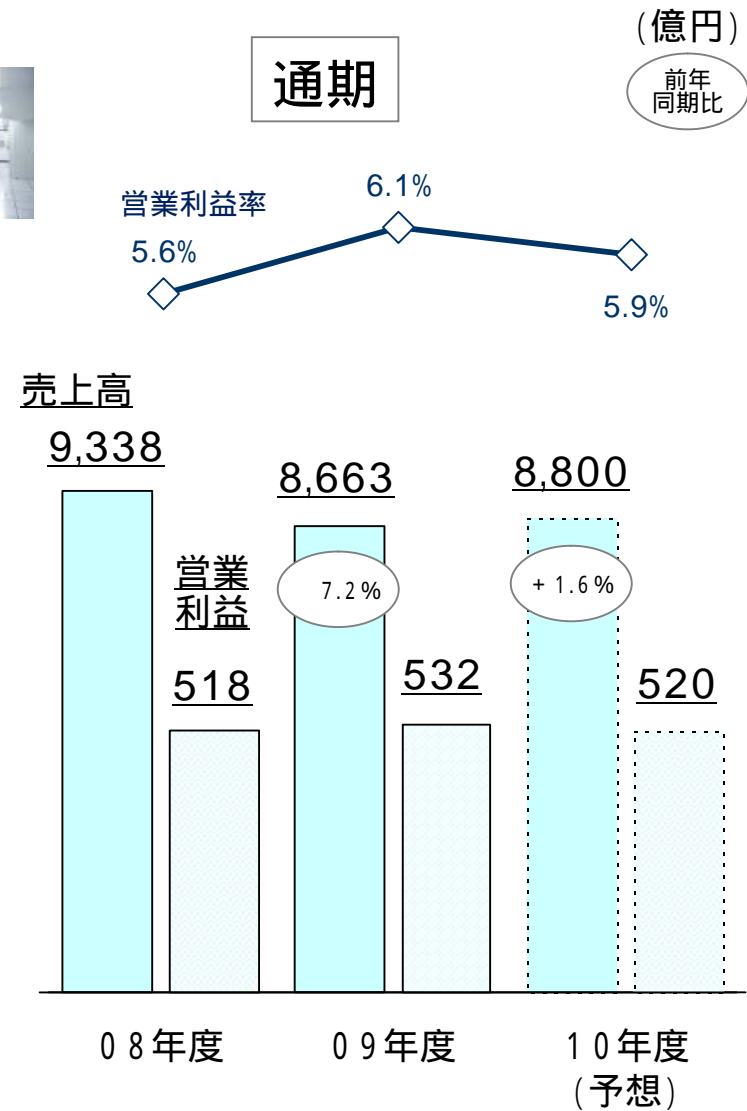
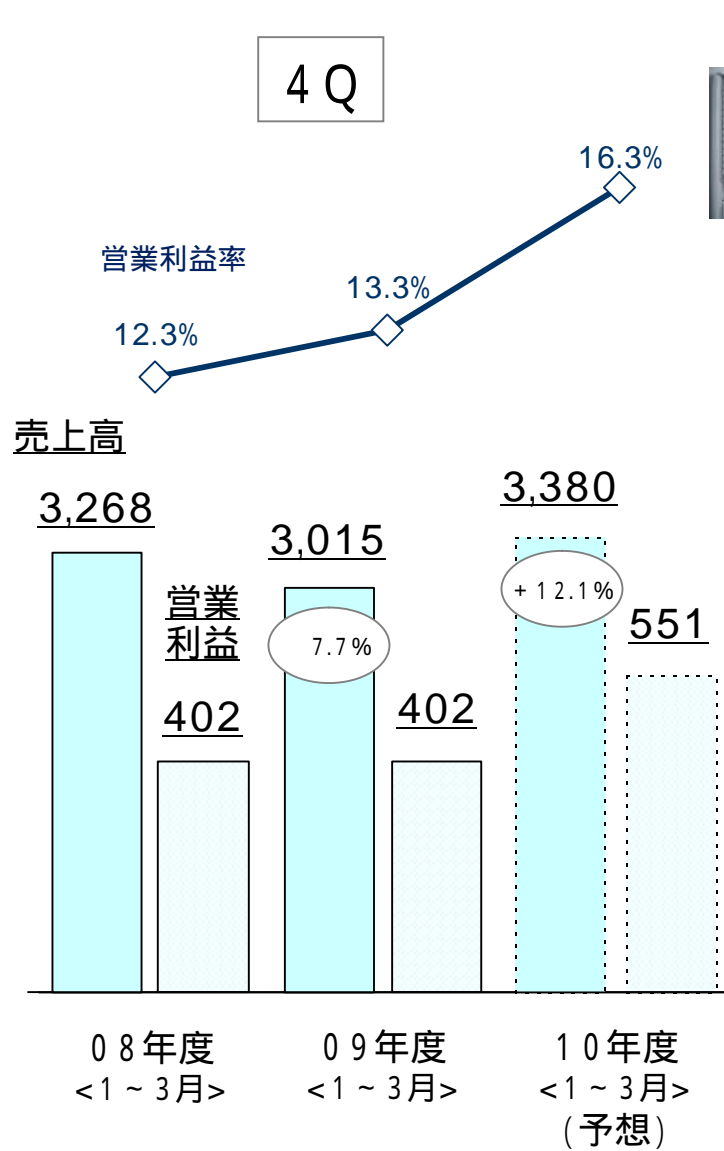
(億円)



予想値は、2011年1月27日現在 (注：10月28日の前回予想からの変更はありません)

ITサービス事業

予想



予想値は、2011年1月27日現在

ITサービス事業

(前年度比)

売上高 8,800億円 (+1.6%)

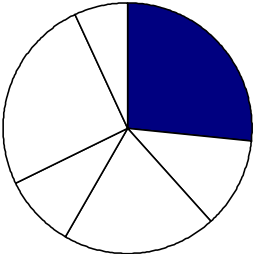
△ SIサービス :

顧客の売上拡大や経営課題解決への提案に注力し、
増収を目指す

△ アウトソーシング / サポートサービス :

クラウド指向サービスの展開、SaaSメニューの拡充等により
着実な売上増を目指す

売上高構成比
<10年度予想>
27%



営業利益 520億円 (12億円)

▽ SI革新活動の強化や費用削減の徹底により
前年並みの利益を目指す



予想値は、2011年1月27日現在 (注：10月28日の前回予想からの変更はありません)

《参考》ITサービス事業の業種別動向

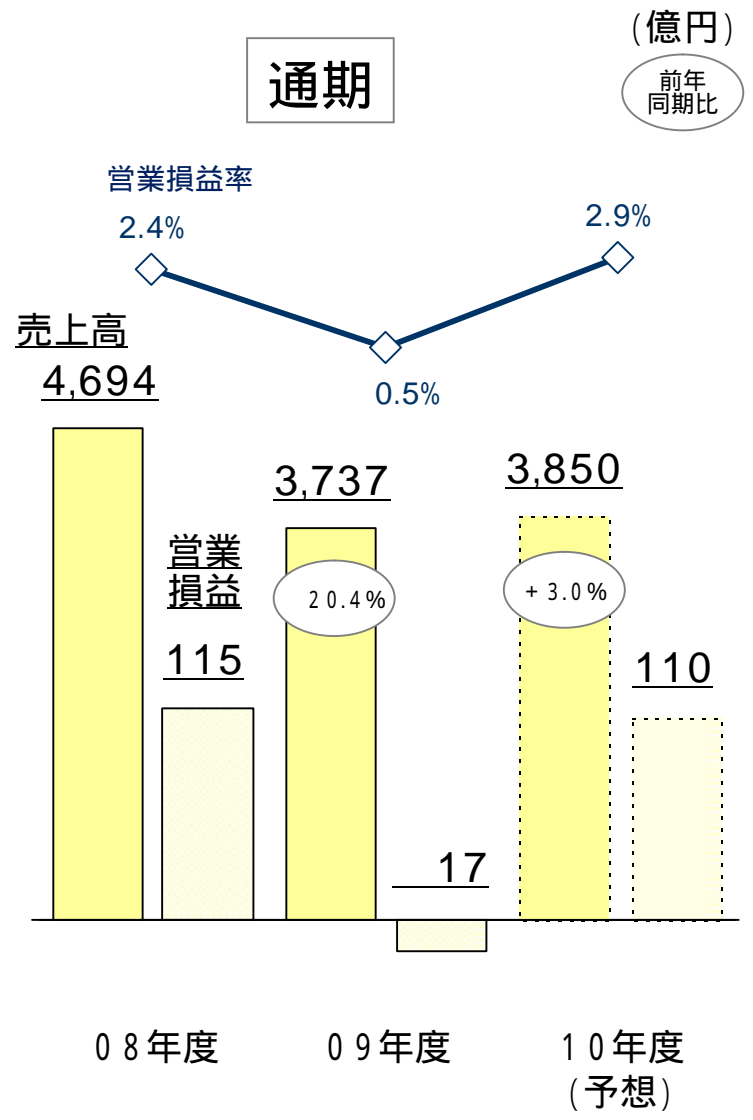
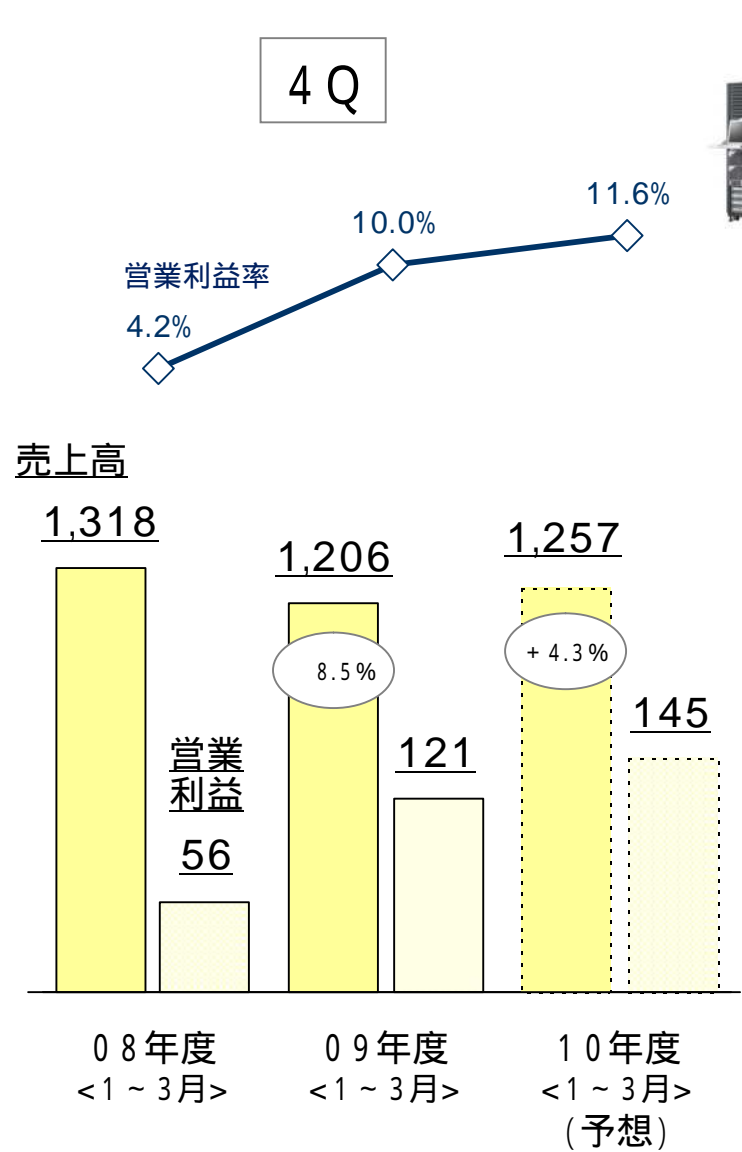
製造業・金融業など前年度比で改善傾向にある顧客のIT需要獲得に注力し、サービス化・グローバル化を加速

業種	重点注力領域
官庁	<ul style="list-style-type: none"> ● 新成長戦略や経済対策関連案件の提案強化、大型案件の確実な獲得 ● バイオメトリクス技術に基づくパブリックセーフティ事業の更なる拡大
公共・医療	<ul style="list-style-type: none"> ● クラウド活用を含めた基幹システム再構築提案によるシェア拡大 ● グローバルパートナーとの協業による新規市場の更なる開拓
金融	<ul style="list-style-type: none"> ● システム共同化等の大型サービス提案や次世代営業店端末の拡販 ● SWIFT (1) 接続サービスなどアジアを軸としたグローバル事業の更なる拡大
通信・メディア	<ul style="list-style-type: none"> ● グローバルキャリア向けクラウドビジネスの横展開、デジタルサイネージ大型商談獲得 ● 国内キャリア / 放送局向け基幹システム案件の提案強化
製造・装置	<ul style="list-style-type: none"> ● クラウド指向経理サービスの拡販、業種SaaSメニューの更なる拡充と受注獲得 ● JOC (2) 案件に加え、ローカル案件の獲得による中華圏、APACでの事業拡大
流通・サービス	<ul style="list-style-type: none"> ● NeoSarfシリーズ、ホテル総合クラウドサービスなどのサービス事業拡大 ● POSシステムなどによるグローバル市場開拓

1 金融機関間の送金や決済等を行うための共通ネットワーク、 2 JOC : Japan Originated Company

プラットフォーム事業

予想



予想値は、2011年1月27日現在

プラットフォーム事業

売上高 3,850億円 (+3.0%)

△ ソフトウェア :

仮想化によるシステム統合、企業・官公庁およびデータセンター向けクラウド基盤などの成長市場に注力し、増収を目指す

▽ ハードウェア :

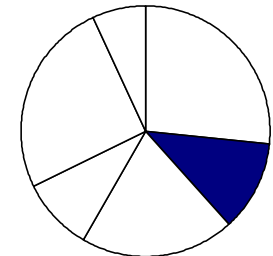
全体としては低位機種へのシフトが進み、減収を見込むがIAサーバ、シンクライアントの伸長で減収幅の軽減を目指す

△ 企業ネットワーク :

顧客の投資意欲の高い領域（コスト削減やグローバル展開に向けた取り組みなど）への注力により、増収を目指す

(前年度比)

売上高構成比
<10年度予想>
12%



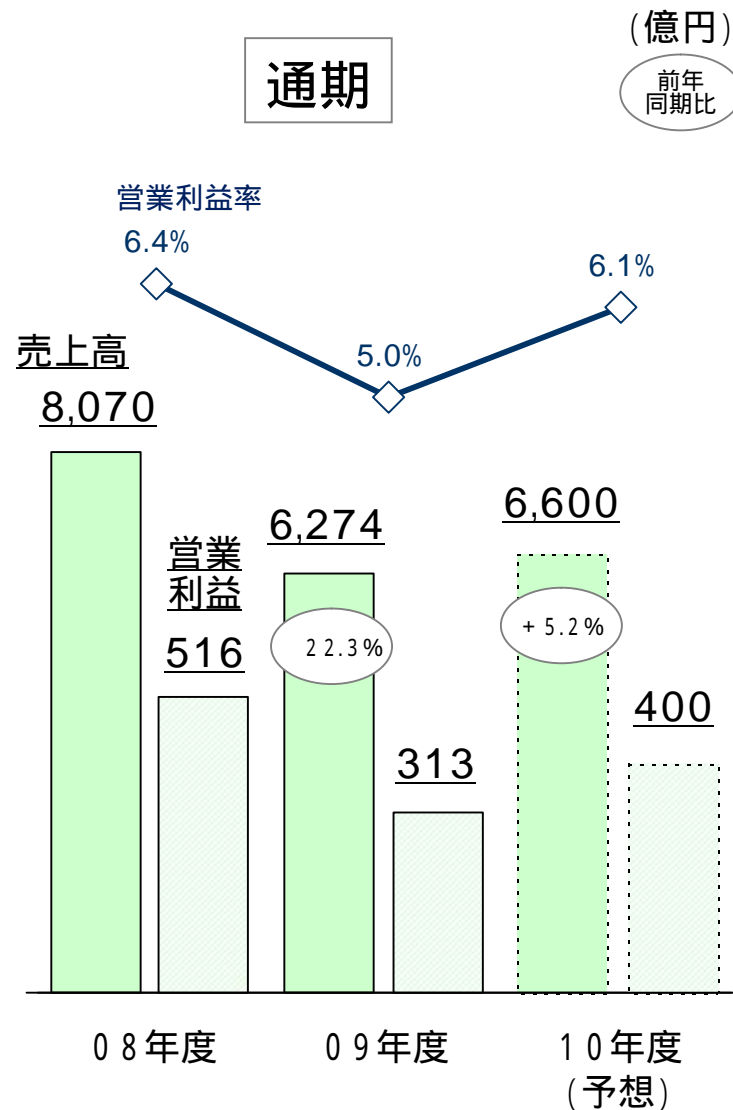
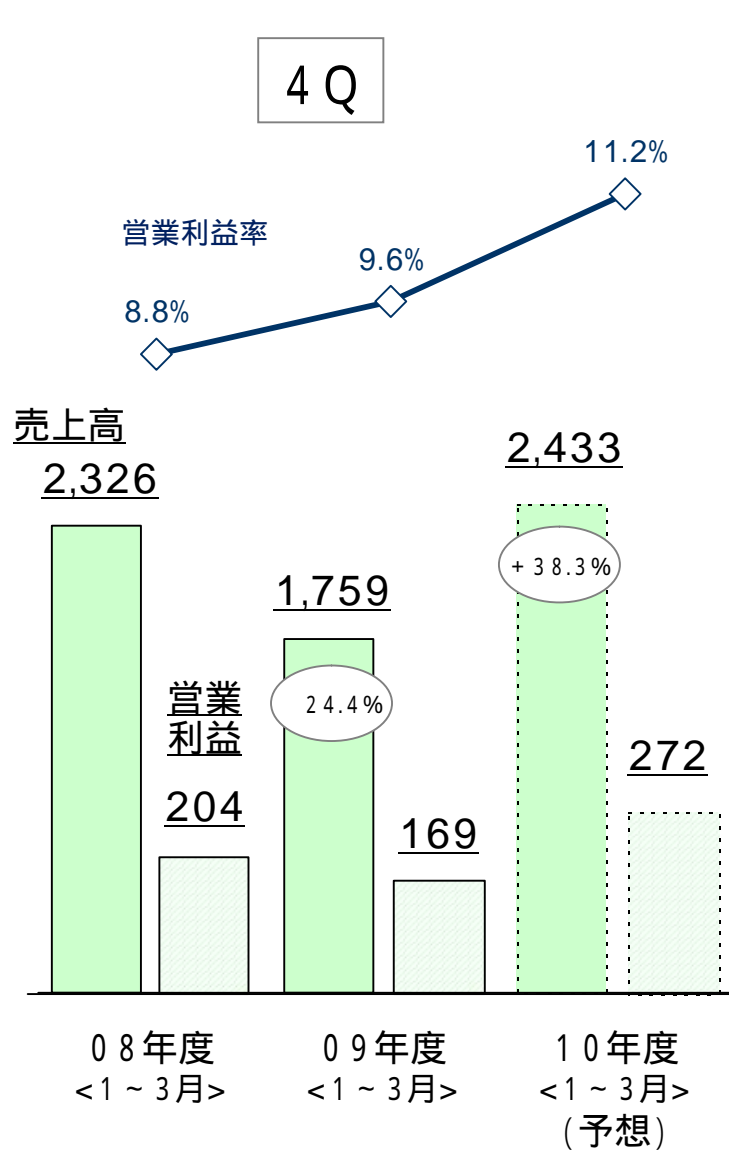
営業損益 110億円 (+127億円)

△ 売上の増加や、継続的な原価低減、効率化により大幅改善を見込む



予想値は、2011年1月27日現在（注：10月28日の前回予想からの変更はありません）

キャリアネットワーク事業



予想値は、2011年1月27日現在

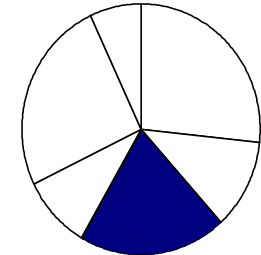
キャリアネットワーク事業

(前年度比)

売上高 6,600億円 (+5.2%)

- △ 国内はスマートフォンの急速な普及に伴うトラフィック増対応など
確実な事業遂行に注力
- △ 海洋システムは大型プロジェクトの確実な遂行による
増収を目指す
- ▽ パソリンクはIP化対応の新機種で売上確保を目指す

売上高構成比
<10年度予想>
20%



営業利益 400億円 (+87億円)

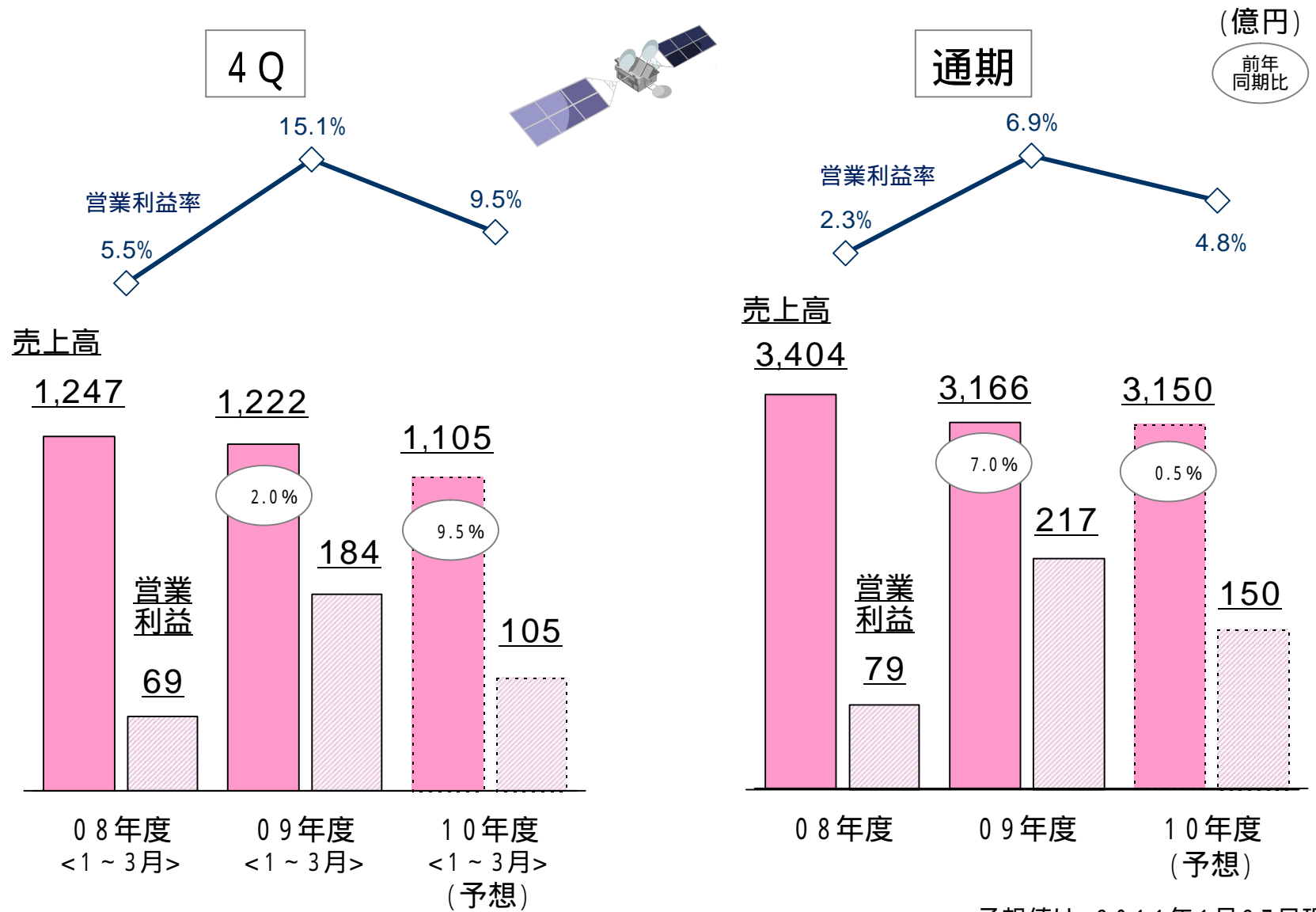
- △ 国内移動の売上拡大、海洋システムの売上回復に加え、
費用の効率化を進めることで増益を目指す



予想値は、2011年1月27日現在 (注：10月28日の前回予想からの変更はありません)

社会インフラ事業

予想



予想値は、2011年1月27日現在

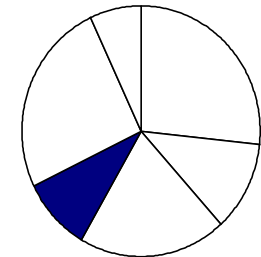
社会インフラ事業

(前年度比)

売上高 3,150億円 (0.5%)

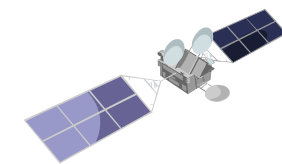
- ▶ 航空宇宙・防衛システム分野が厳しいものの、交通、消防など社会システム分野の売上増加により前年度並みを目指す

売上高構成比
<10年度予想>
10%



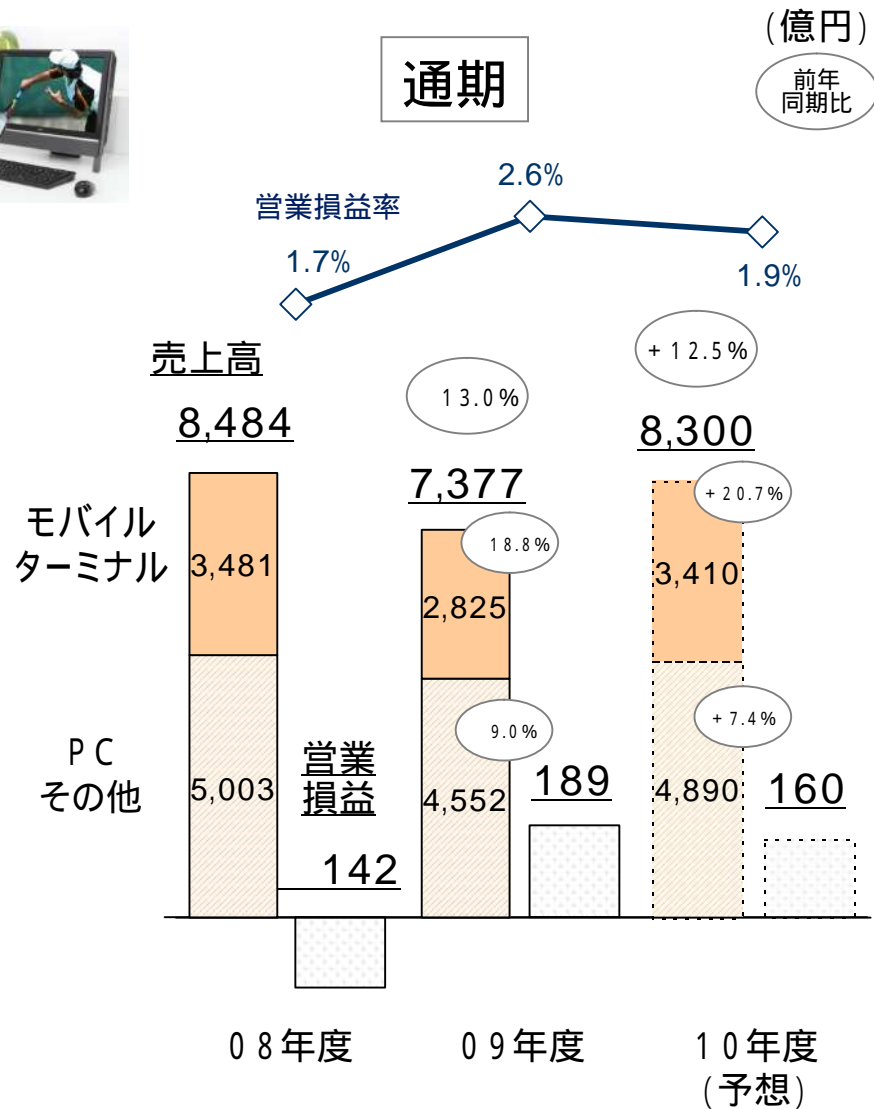
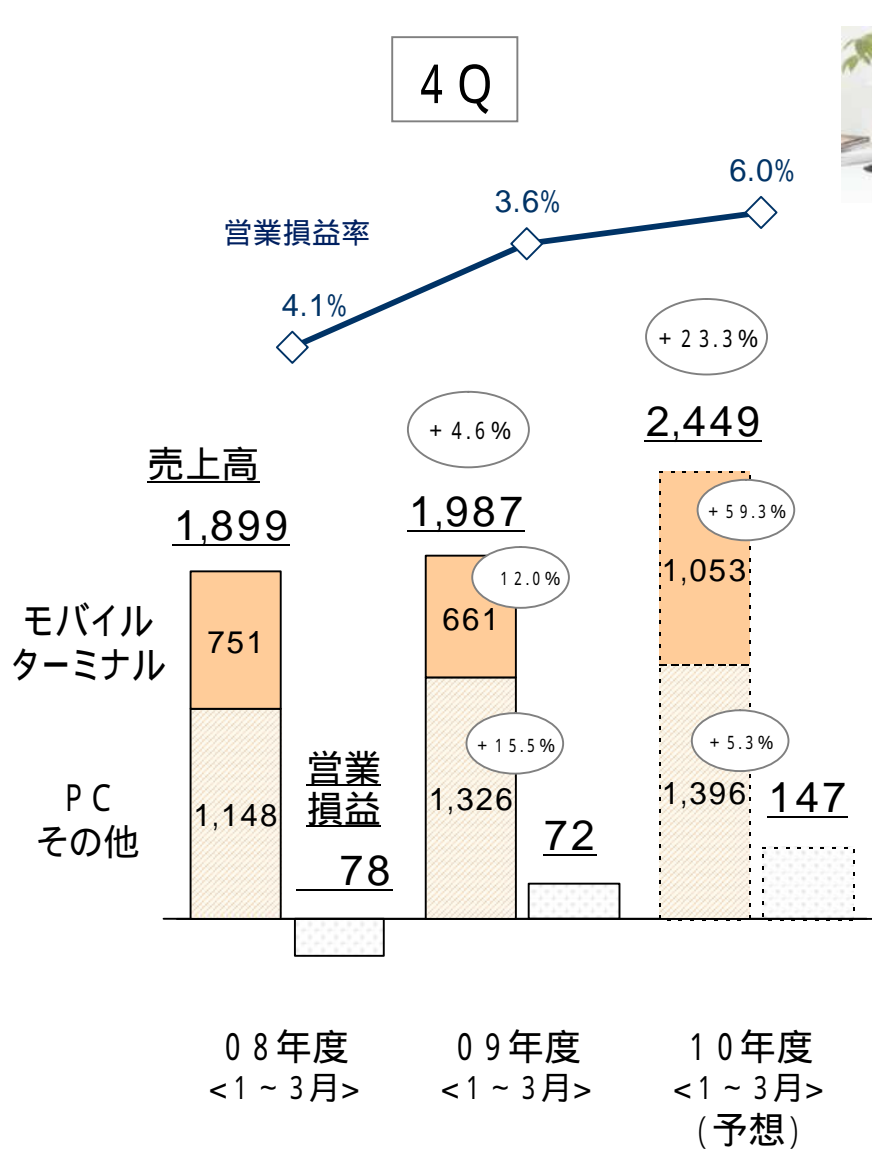
営業利益 150億円 (67億円)

- ▽ プロジェクトコスト管理の強化等による原価低減を推進するものの、前年度に収益性の高い案件があったため減益



予想値は、2011年1月27日現在 (注：10月28日の前回予想からの変更はありません)

パーソナルソリューション事業



予想値は、2011年1月27日現在

パーソナルソリューション事業

(前年度比)

売上高 8,300億円 (+12.5%)

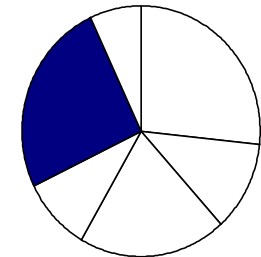
△ モバイルターミナル :

事業統合効果や新商品投入による巻き返しにより
増収を見込む

△ PCその他 :

企業市場の回復によるビジネス系商品 (ビジネスPC・パブリックディスプレイ・デジタルシネマプロジェクタなど) や堅調な需要を受けた個人向け商品 (高付加価値PCやWiMAXルータなど) の好調により増収を見込む

売上高構成比
<10年度予想>
25%



営業利益 160億円 (29億円)

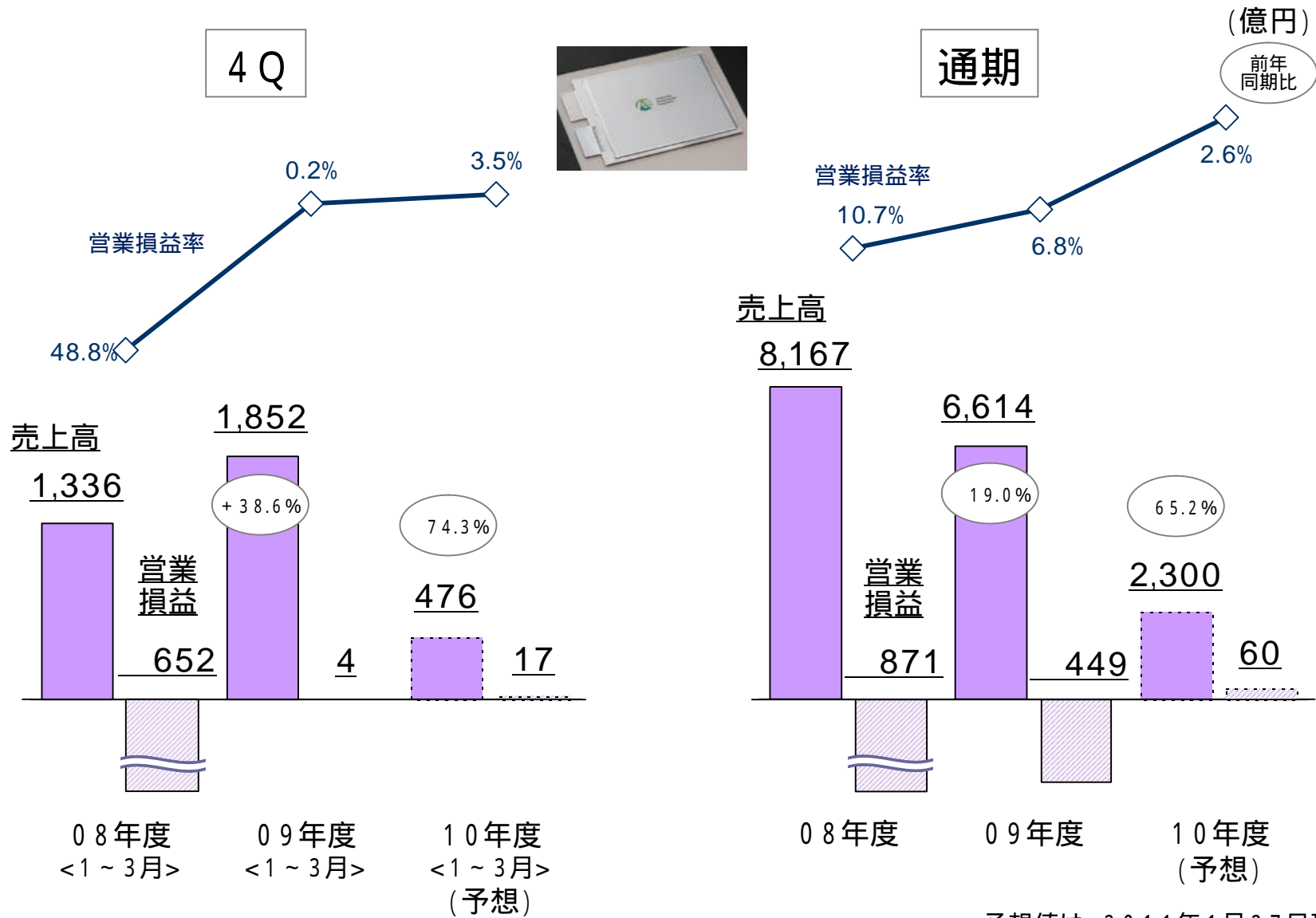
▽ 固定費他の費用削減や開発効率化を進めるも、
LifeTouch やスマートフォンなど新端末開発費用の
増加により減益を見込む



予想値は、2011年1月27日現在 (注: 10月28日の前回予想からの変更はありません)

その他

予想



予想値は、2011年1月27日現在

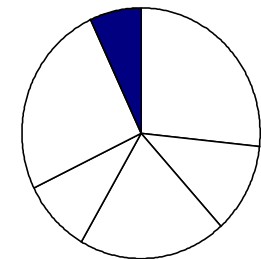
その他

(前年度比)

売上高 2,300億円 (65.2%)

▽ NECエレクトロニクス (現 ルネサス エレクトロニクス) が連結子会社でなくなったことなどにより減収。

売上高構成比
<10年度予想>
6%



営業損益 60億円 (+509億円)

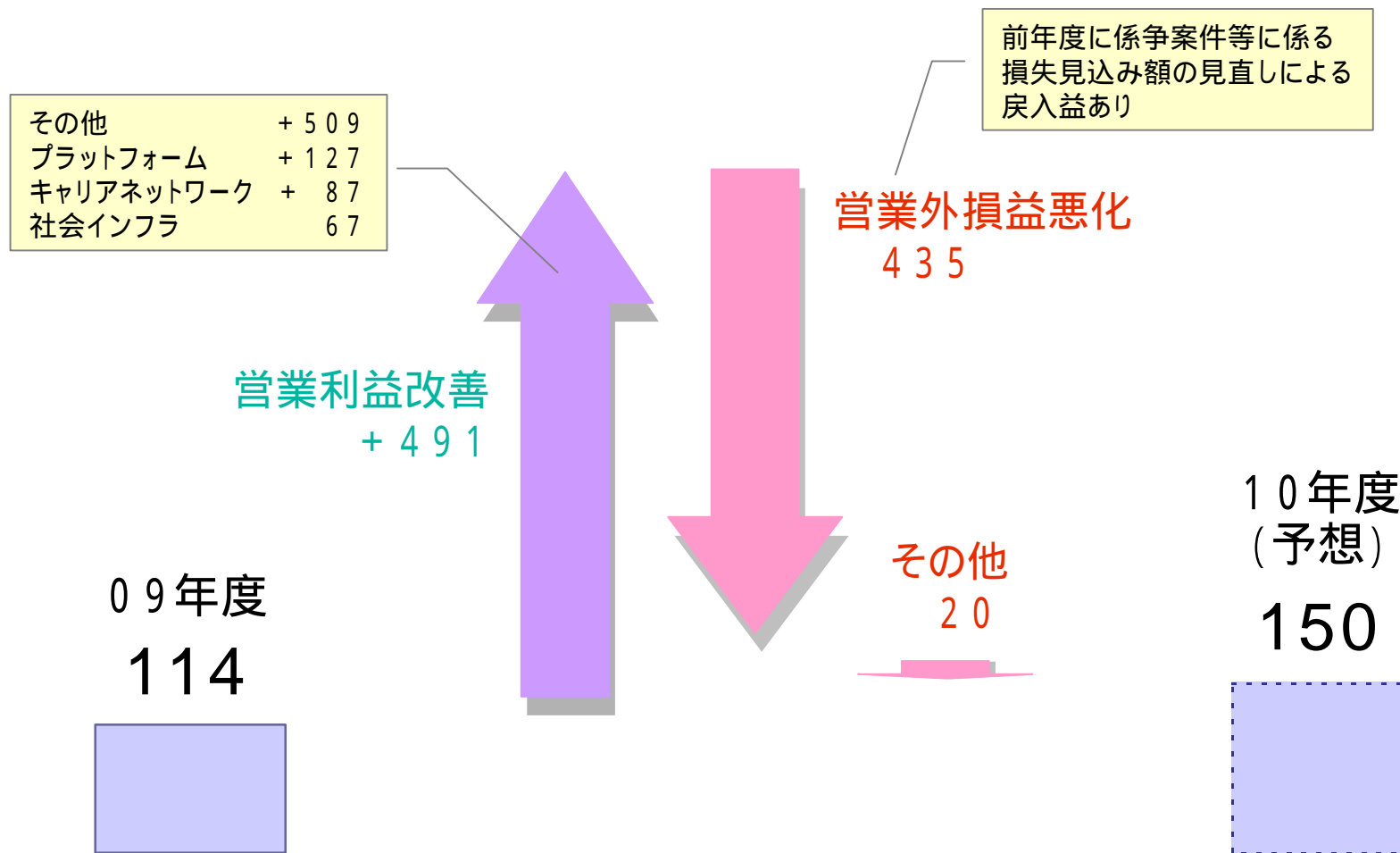
△ 前年度に営業損失を計上した
NECエレクトロニクス (現 ルネサス エレクトロニクス) が
連結子会社でなくなったことなどにより改善



予想値は、2011年1月27日現在 (注：10月28日の前回予想からの変更はありません)

当期純利益増減 (前年度比)

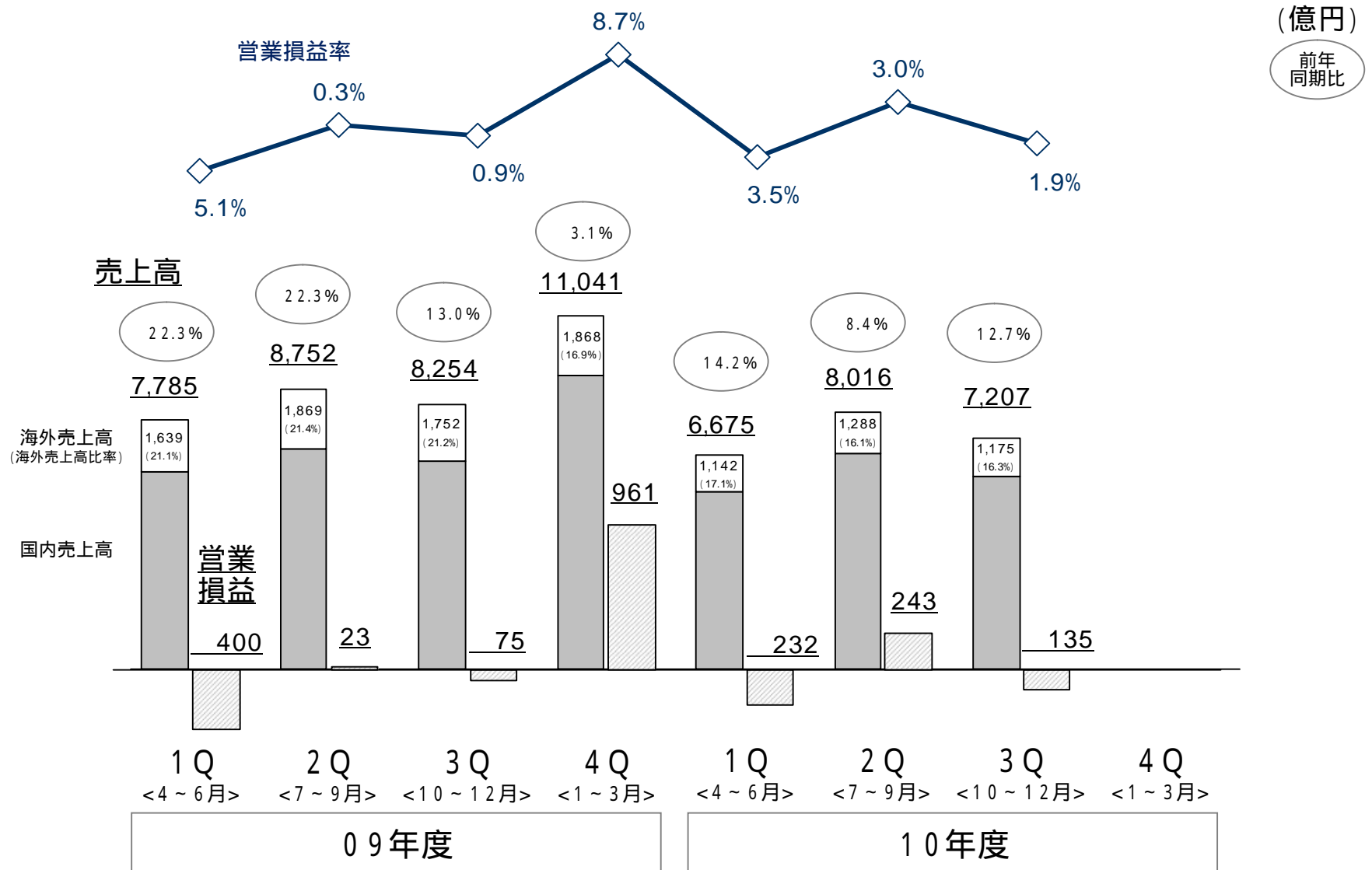
(億円)



予想値は、2011年1月27日現在 (注：10月28日の前回予想からの変更はありません)

參考資料

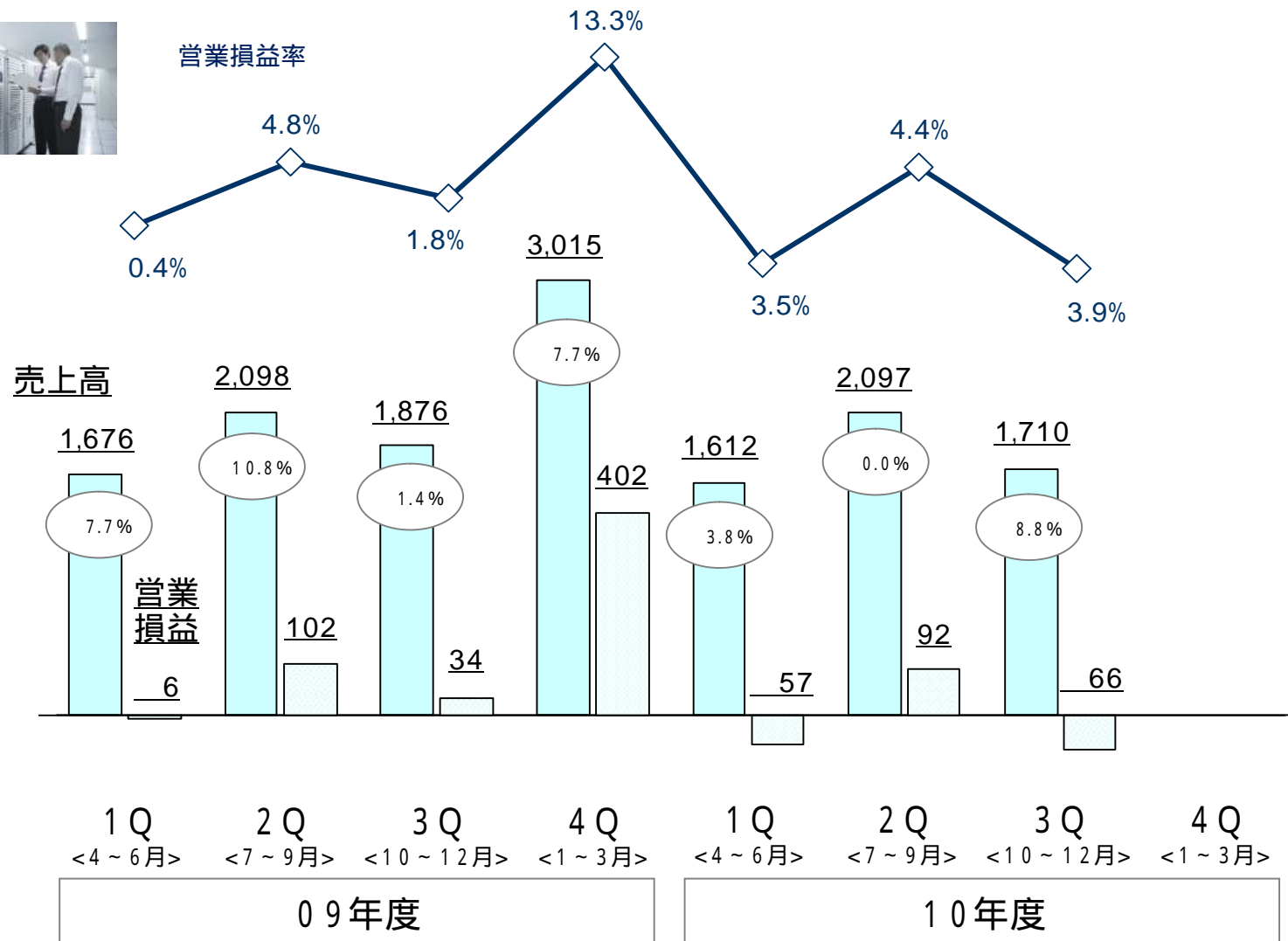
全社売上高・営業損益推移



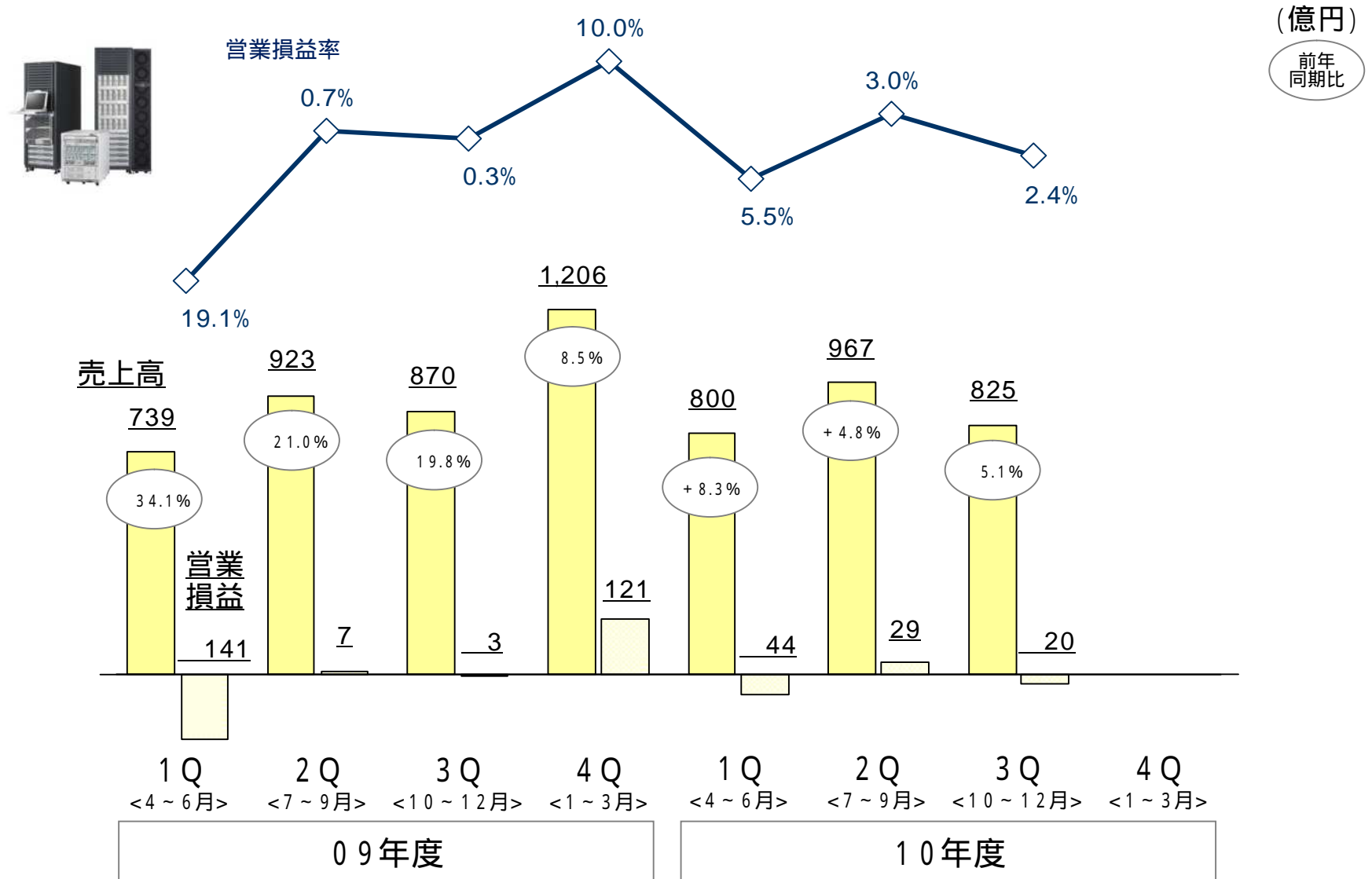
ITサービス事業 売上高・営業損益推移

(億円)

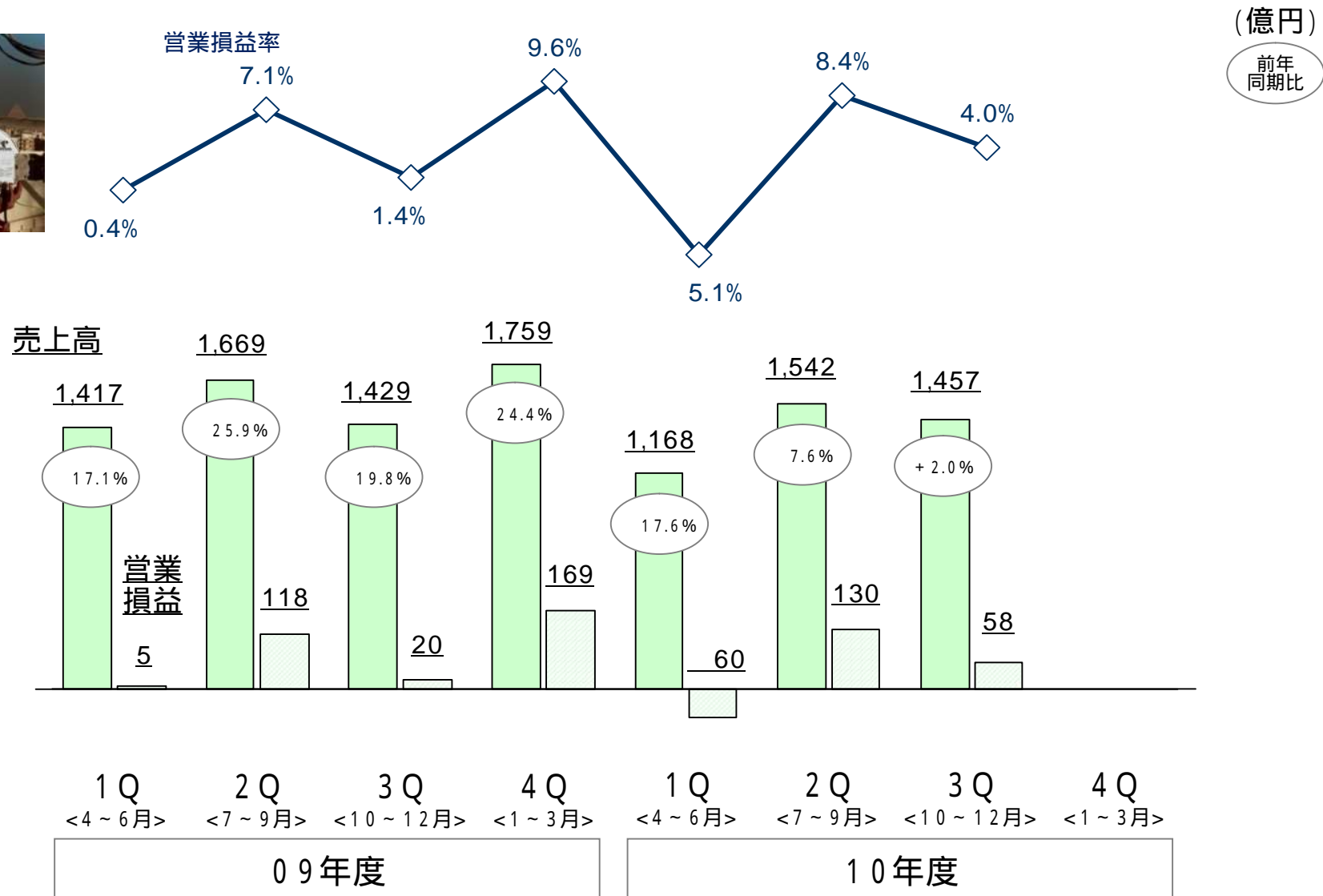
前年
同期比



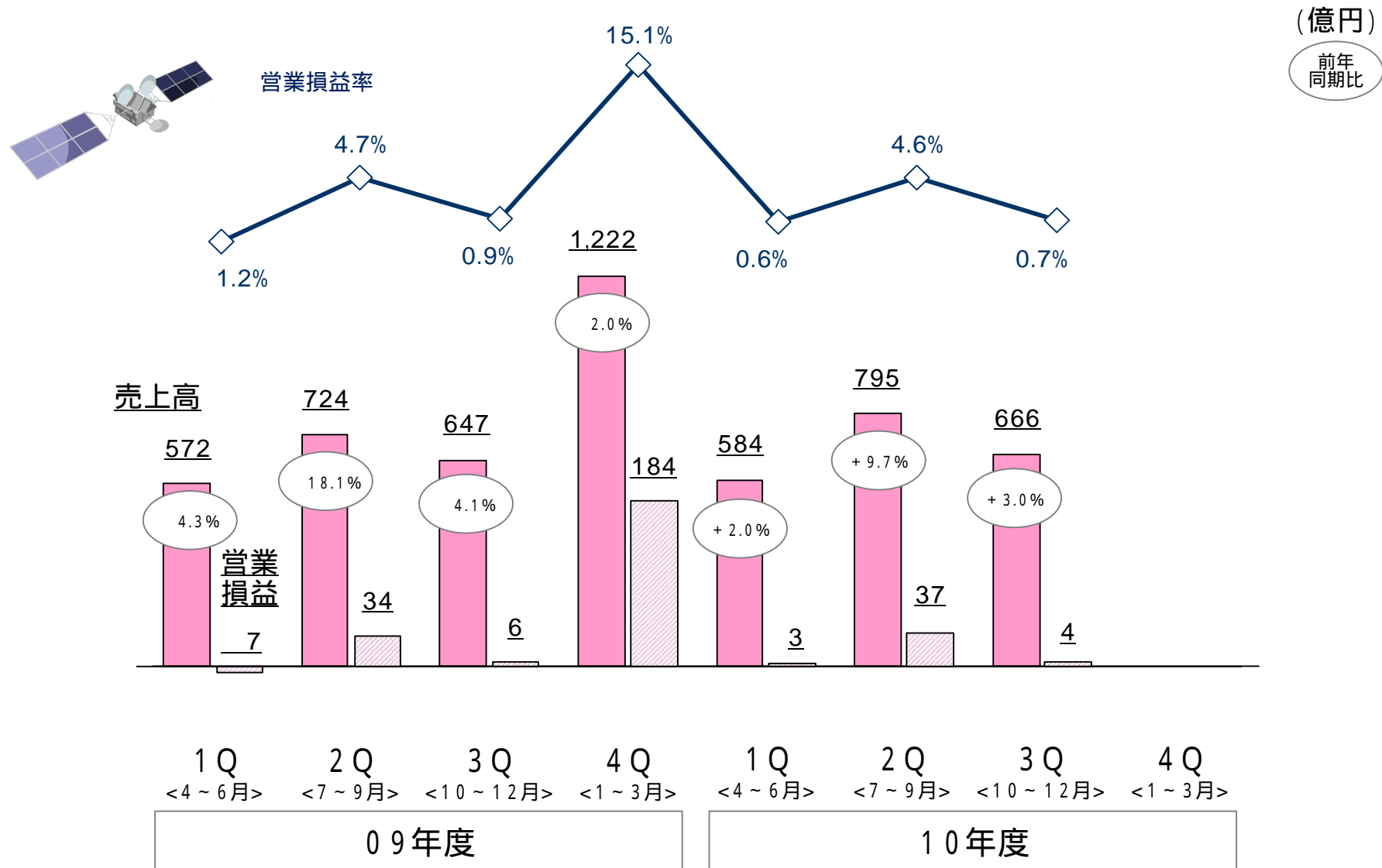
プラットフォーム事業 売上高・営業損益推移



キャリアネットワーク事業 売上高・営業損益推移

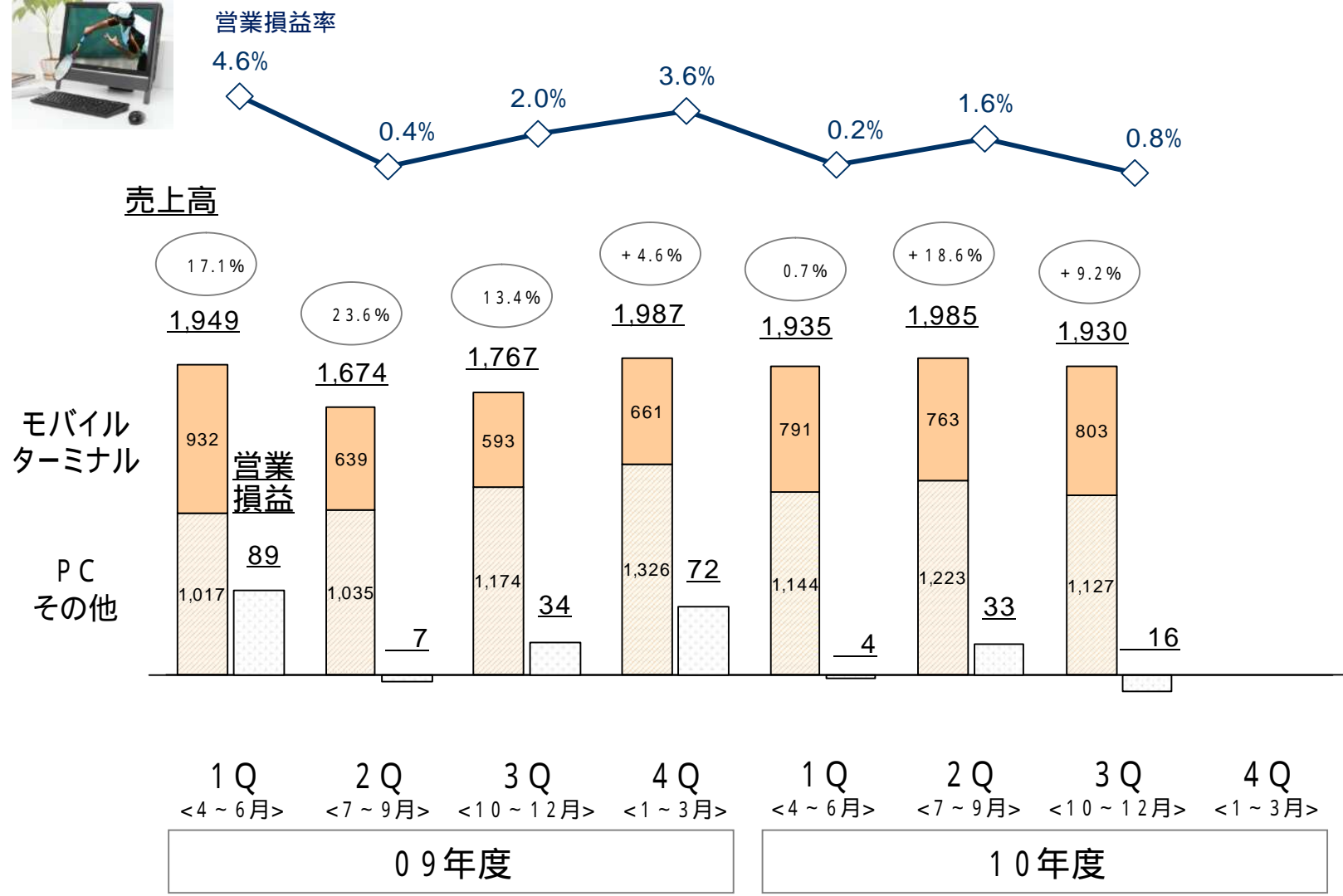


社会インフラ事業 売上高・営業損益推移

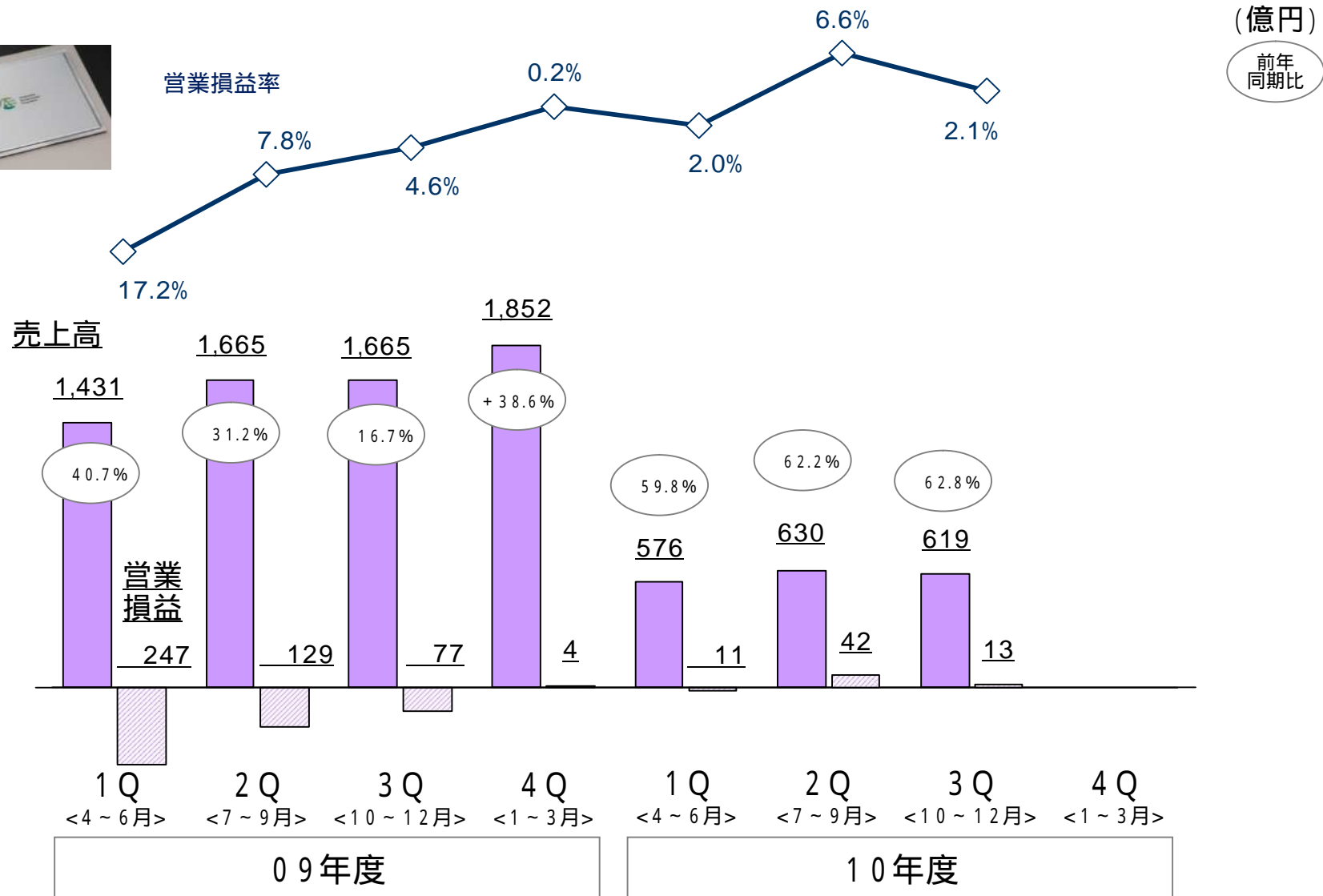


パーソナルソリューション事業 売上高・営業損益推移

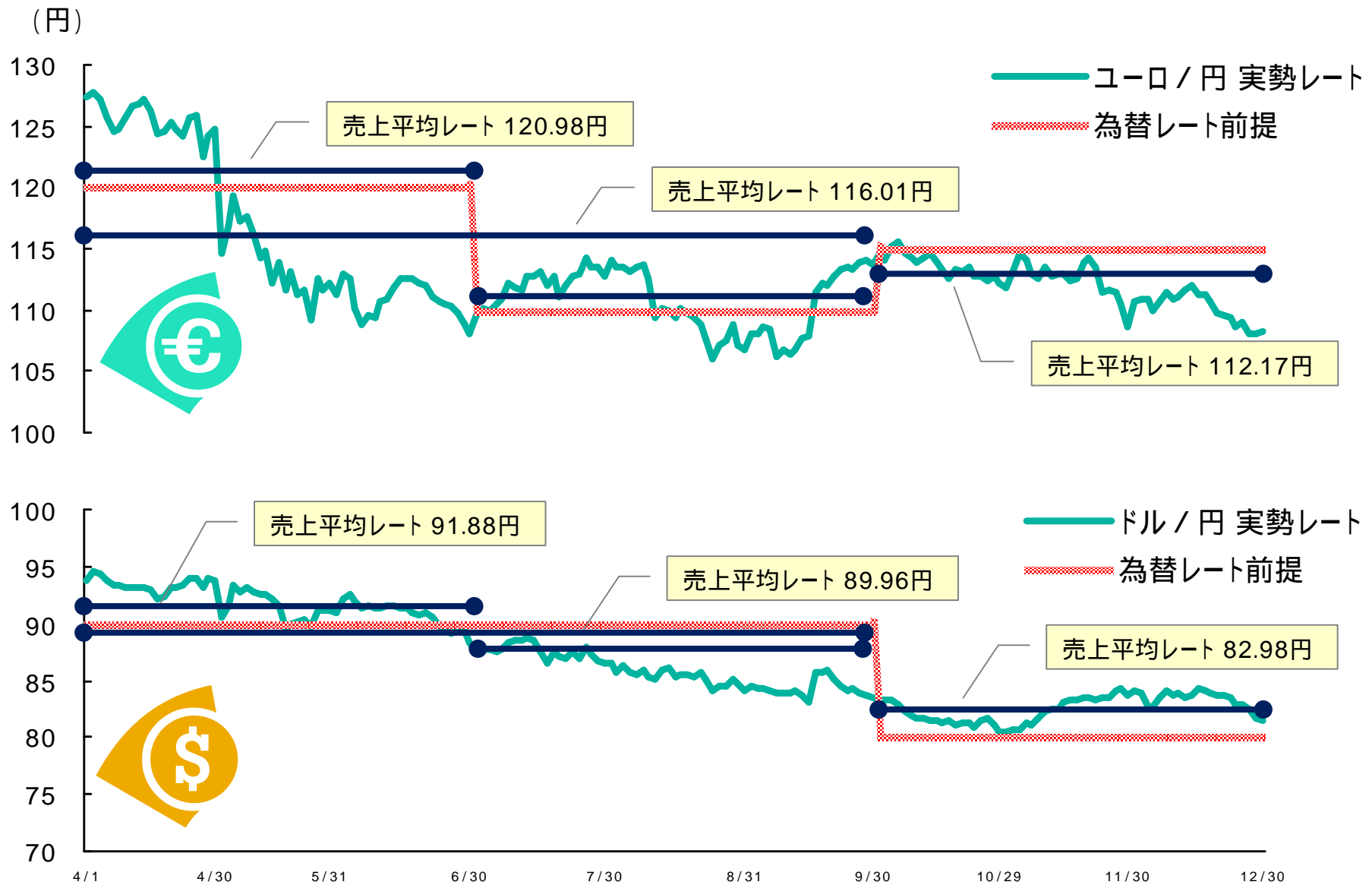
(億円)
前年同期比



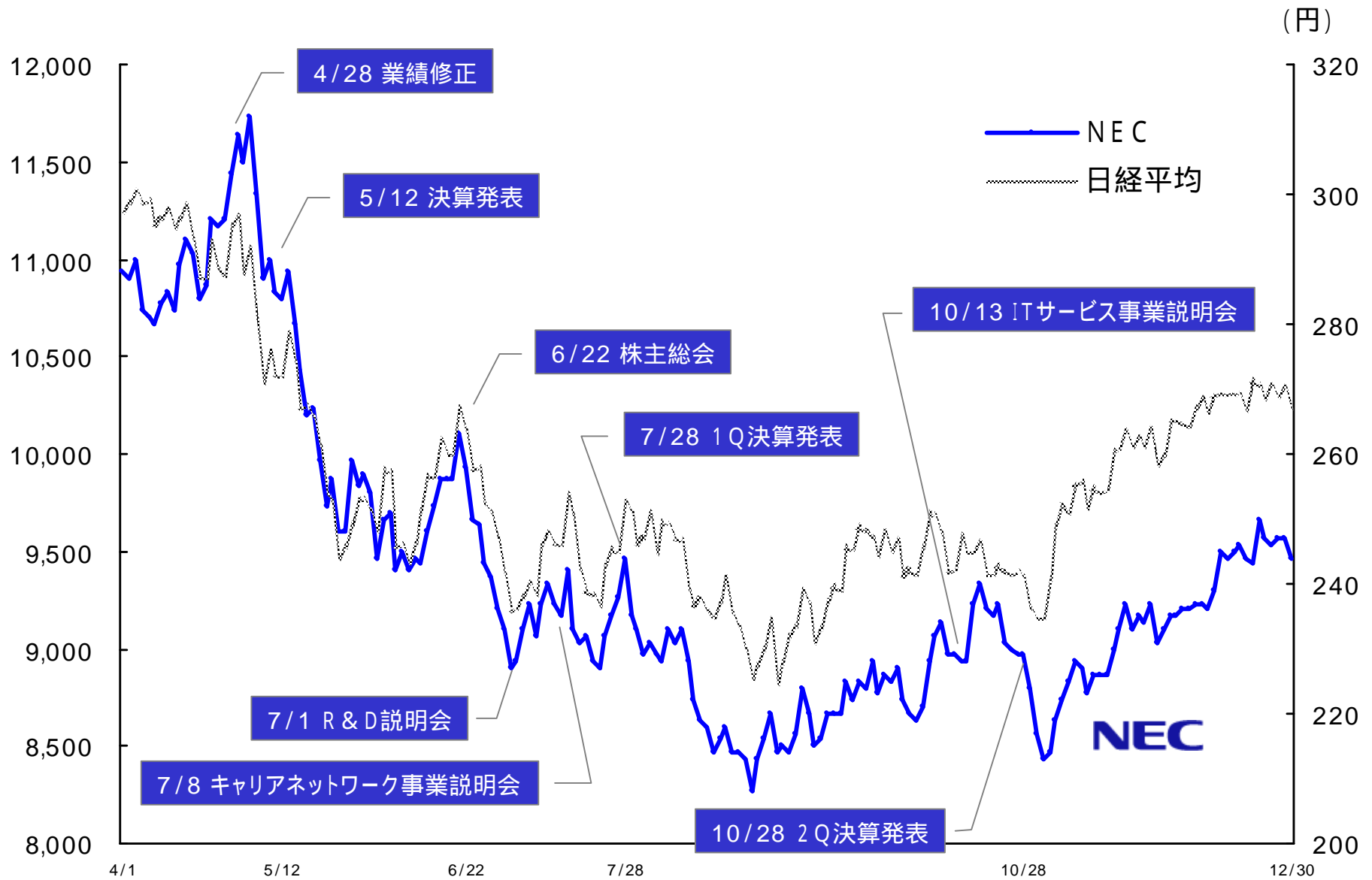
その他 売上高・営業損益推移



為替レートの推移



株価の推移



< 将来予想に関する注意 >

本資料には日本電気株式会社および連結子会社（以下NECと総称します。）の戦略、財務目標、技術、製品、サービス、業績等に関する将来予想に関する記述が含まれています。将来予想は、NECが金融商品取引所や関東財務局長等の規制当局に提出する他の資料および株主向けの報告書その他の通知に記載されている場合があります。NECは、そのような開示を行う場合、将来予想に関するセーフハーバー（safe-harbor）ルールに準拠しています。これらの記述は、現在入手可能な仮定やデータ、方法に基づいていますが、そうした仮定やデータ、方法は必ずしも正しいとは限らず、NECは予想された結果を実現できない場合があります。また、これら将来予想に関する記述は、あくまでNECの分析や予想を記述したものであって、将来の業績を保証するものではありません。このため、これらの記述を過度に信頼することは控えるようお願いいたします。また、これらの記述はリスクや不確定な要因を含んでおり、様々な要因により実際の結果とは大きく異なりうることをあらかじめご了承ください。実際の結果に影響を与える要因には、(1)NECの事業領域を取り巻く国際経済・経済全般の情勢、(2)市場におけるNECの製品、サービスに対する需要変動や競争激化による価格下落圧力、(3)激しい競争にさらされた市場においてNECが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供し続けていくことができる能力、(4)NECが中国等の海外市場において事業を拡大していく能力、(5)NECの事業活動に関する規制の変更や不透明さ、潜在的な法的責任、(6)市場環境の変化に応じてNECが経営構造を改革し、事業経営を適応させていく能力、(7)為替レート（特に米ドルと円との為替レート）の変動、(8)NECが保有する上場株式の減損をもたらす株価下落など、株式市場における好ましくない状況や動向、(9)NECに対する規制当局による措置や法的手続きによる影響等があります。将来予想に関する記述は、あくまでも公表日現在における予想です。新たなリスクや不確定要因は随時生じるものであり、その発生や影響を予測することは不可能であります。また、新たな情報、将来の事象その他にかかわらず、NECがこれら将来予想に関する記述を見直すとは限りません。

本資料に含まれる経営目標は、予測や将来の業績に関する経営陣の現在の推定を表すものではなく、NECが事業戦略を遂行することにより経営陣が達成しようと努める目標を表すものです。

本資料に含まれる記述は、有価証券の募集を構成するものではありません。いかなる国・地域においても、法律上証券の登録が必要となる場合は、有価証券の登録を行う場合または登録の免除を受ける場合を除き、有価証券の募集または売出しを行うことはできません。

(注)

当社の連結財務諸表作成に関する会計基準は「日本会計基準」を採用しています。

年度表記について、2008年度は2009年3月期、2009年度は2010年3月期（以下同様）を表しています。